



武蔵野音楽大学



武蔵野音楽大学ウェブサイト

<https://www.musashino-music.ac.jp/>

学校法人 武蔵野音楽学園 2025年4月18日発行 ©MUSASHINO ACADEMIA MUSICAE 禁無断複写転載

武蔵野音楽大学

MUSASHINO ACADEMIA MUSICAE

武蔵野音楽大学

CAMPUS
GUIDE
2026



CAMPUS GUIDE 2026



武蔵野音楽大学は 「〈和〉のこころ」のもとに「音楽芸術の研鑽」と 「人間形成」をめざして歴史を刻んできました

Contents

建学の精神と教育方針	01
学長メッセージ	02
沿革	03
NEWS & TOPICS	04
武蔵野音楽大学の魅力	05
施設紹介	07
音楽学部	13
カリキュラム	15
演奏学科	17
ヴィルトゥオーゾコース	19
器楽コース	21
有鍵盤器専修	22
管楽器専修	23
打楽器専修	24
弦楽器専修	24
声楽コース	25
音楽総合学科	27
作曲コース	29
音楽学コース	31
音楽教育コース	33
アートマネジメントコース	35
客員・特別招聘教授メッセージ	37
講師紹介	39
教育職員一覧	45
授業紹介	47

【Campus Life】	
学生のメッセージ	53
年間行事	57
キャンパストピックス	59

大学院・別科	61
キャリアサポート	63
進路状況	64
卒業生の活躍	65
夢に向かって羽ばたく新卒業生	69
奨学金・学生サポート	71
入学者選抜ガイド	73
入学者選抜スケジュール	75
2025年度 講習会・イベント情報	77

建学の精神と教育方針

建学の精神

「〈和〉のこころ」

教育方針

「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」

わが国で、音楽教育の基盤がまだ弱体であった昭和4（1929）年、その普及と向上に強い情熱をもって取り組んだ創立者 福井直秋と、その教育理念に共鳴する多くの協力者、教職員、生徒たちの強い「和」によって本学は創設されたことから、建学の精神を「〈和〉のこころ」と定めています。

また、深遠な音楽美の追究と豊かな人格の形成は、相高めあうものであるという創立者の信念から、本学は、「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」を創立以来の一貫した教育方針としています。

さらに、「礼儀 (Propriety)」、「清潔 (Purity)」、「時間厳守 (Punctuality)」の3つに基づく生活の規範を「3P主義」と呼び、平素の生活において、学生のみならず教職員にも実践することを求めています。

創立者

諸芸術の中で人種、言語の別を越え、概念の領域を超脱して直さに人間の本能に訴え、和親相愛の心情をたかめ、崇高純美の気迫を培い得る力を最も大きく内包するものは音楽芸術であるといえよう。

（1945年 創立者論文「再建日本と音楽」より）



創立者
初代理事長・学長

福井 直秋

学長メッセージ

Message

「〈和〉のこころ」と「個々人の自立」を大切に

本学は、創立者の音楽教育にかける強い気持ちに共鳴した多くの人々の情熱の発露が学校設立へと結びついたことから、建学の精神を「〈和〉のこころ」としています。そして、この精神は「個々人の自立」と表裏一体となって捉えられるべきであると考えています。他者を尊重し、協調しながらも、自立して問題提起や解決ができる音楽人を育成するために、我々教職員はきめ細かく丁寧な指導に努めています。

通常の大学キャンパスの枠を超えた「音楽の街」とも呼べる本学キャンパスは、重厚感と現代性が調和し、優れた機能性とスタイリッシュなデザインを併せ持っています。ここでは、理想的な演奏・学修環境が実現しており、自身の可能性を無限に拡げることができます。さらに、皆さんが在学中、学修目標を達成し大きく成長するための、さまざまな出会いや経験の場、また、学生支援の環境も整っています。

これからの時代、音楽を愛する皆さんは、各々の専門性を高めることはもちろんですが、単なる知識の習得だけではなく、問題の本質を見極める「洞察力」、解決策を発見する「創造力」、他者と意思疎通を図る「コミュニケーション能力」を高めることが必要です。生成AI などでは代替できないこれらの能力によって、答えのない問題や未知の課題に遭遇した際、広い視野を持ってそれらに対峙していけるからです。

皆さんは、未来の正確な予測が困難な時代を生き抜いていかねばならなくなりました。しかし、いかに人々の生活環境が変わろうとも、音楽芸術に心を癒され、これに明日を生きる活力を見いだすという、人間が生来持つ本性は普遍であると、私は信じています。学生諸君には、本学の教育方針「音楽芸術の研鑽」「人間形成」によって大作曲家の作品の真理に少しでも近づき、在学中に培った多層的な知性としなやかな感性、そして豊かな人間性を活かして、それぞれの新たな舞台へ大きく羽ばたき輝き続けて欲しいと、切に願っています。

皆さんにとって、かけがえのない時間を、武蔵野音楽大学で共に過ごしていきませんか。伝統と近代性が交差するキャンパスから、意欲あふれる皆さんを、心から歓迎いたします。

武蔵野音楽大学 学長・教授（ピアノ）

福井 直昭

ピアニスト。1970年東京生まれ、慶應義塾大学卒業、武蔵野音楽大学大学院修了、ミュンヘン音楽大学に留学。クロイツァー賞、ブルガリア国際音楽コンクール「Music & Earth」全部門グランプリ、ハンガリー・ジュール市記念シルバーメダル、下総皖一音楽賞等受賞。国内外で20以上の著名なオーケストラと協演。録音も「レコード芸術」特選盤に選出。世界的ピアニスト ケマル・ゲキチとのデュオも常に高い評価を得ている。日本私立大学協会理事。全日本音楽教育研究会会長。武蔵野音楽大学学長、ヴィルトゥオーゾコース長。





MUSASHINO ACADEMIA MUSICAE

武蔵野音楽大学 沿革

1929	武蔵野音楽学校として設置認可を受け創立 江古田キャンパス校舎落成		1981	福井直俊、理事長に就任 福井直敬、学長に就任	
1949	武蔵野音楽大学（音楽学部）として 設置認可福井直秋、学長に就任		1993	武蔵野音楽大学バルナソス多摩開設 シューベルトホール落成	
1951	財団法人武蔵野音楽学校から 学校法人武蔵野音楽学園へ組織変更 福井直秋、理事長に就任		1998	福井直敬、理事長に就任	
1960	ペーターヴェンホール落成		2004	大学院音楽研究科博士後期課程設置	
1962	福井直弘、学長に就任		2007	学芸員課程設置	
1964	大学院音楽研究科修士課程設置		2017	江古田新キャンパス竣工 学科改組により音楽学部に 演奏学科、音楽総合学科設置	
1967	武蔵野音楽大学楽器博物館開設		2020	福井直昭、学長に就任	江古田新キャンパス竣工（2017）
1973	武蔵野高等学校設置認可 （2005年武蔵野音楽大学附属高等学校に校名変更）	ペーターヴェンホール 落成（1960）	2021	武蔵野音楽大学楽器ミュージアム リニューアルオープン	
1979	パッハザール落成		2024	学生レジデンス「Flügel」竣工	
			2027	附属高等学校、東京都新キャンパスに移転予定	

武蔵野音楽大学では、建学の精神および教育方針に基づき、入学に際して求めている学修意欲と能力をアドミッション・ポリシーに定めています。そして、この方針に則り、公正かつ妥当な入学者選抜を行い、国内外から広く学生を受け入れています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

武蔵野音楽大学の建学の精神「く和」のこころ」、および教育方針である「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」に共感する以下のような学修意欲と能力を備えた者を、各コースの専攻別科目、共通科目、面接、調査書等による多面的・総合的な入学者選抜によって選抜します。

- 1 本学の建学の精神と教育方針のもとで学修するに相応しい、豊かな人間性を有する者。
- 2 音楽を主体的に学び深めることにより、音楽の美を探究する意欲のある者。
- 3 専攻の学修に必要な能力と基礎的学力、および思考力、判断力を備えた者。

詳細はこちらのQRコード、URL からご覧ください。
https://www.musashino-music.ac.jp/graduate/department1/admission_policy



カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

武蔵野音楽大学の教育方針である「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」を具現するため、音楽学部全2学科に、必修科目、選択科目、自由科目を開講し、各コースの教育目的に適うよう、以下のようにカリキュラムを編成します。

- 1 授業科目は原則として4学年を8つに区分したセメスターごとに開講し、各専攻分野に求められる知識、能力等を段階的、体系的に修得できるよう編成します。この際、教養科目は必修科目および自由科目の一部として、全学年を通して履修を可能とします。
- 2 専攻実技科目については、個人レッスンにより技量の向上を図るとともに、さまざまな研究発表・演奏等の機会を設け、実践的な体験を積ませます。また、成績評価は実技試験等の結果を踏まえ、別に定めた評価基準により行います。
- 3 クラス授業科目については、開設科目の特性および到達目標を踏まえたクラス編成による授業を通して、グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッション等を重視した教育方法を積極的に導入します。また、成績評価は定期試験等の結果を総合的に勘案し、別に定めた評価基準により行います。
- 4 教育的見地から、年次ごとの履修単位の上限を定め、かつ3年次への進級に際しては修得すべき単位を定めた進級基準を設けます。

詳細はこちらのQRコード、URL からご覧ください。
https://www.musashino-music.ac.jp/graduate/department1/curriculum_policy



ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

武蔵野音楽大学音楽学部（学士課程）の目的に基づき、4年以上在学して124単位以上を修得し、以下の知識・能力等を身につけたと認められる者に、学士（音楽）の学位を授与します。

- 1 専攻分野における基礎的な知識・能力に加え、専門的な能力（演奏学科では演奏能力、音楽総合学科の作曲コースでは創作能力、音楽学コースでは研究能力、音楽教育コースでは教育能力、アートマネジメントコースではアートマネジメント能力）を身につけている者。
- 2 正課の授業および正課外でのさまざまな学修体験を通して、豊かな人間性と学修に対する継続的な強い意欲を身につけている者。
- 3 自ら考え、創造する能力を育成し、予測することが困難な社会の諸課題に対応できる判断力、コミュニケーション能力等を身につけている者。

詳細はこちらのQRコード、URL からご覧ください。
https://www.musashino-music.ac.jp/graduate/department1/diploma_policy



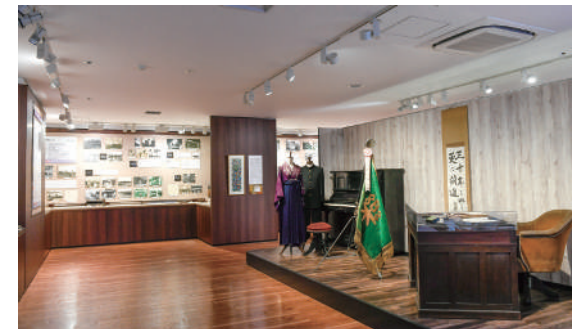
NEWS&TOPICS

武蔵野音楽大学歴史展示室が2025年に誕生

旧江古田キャンパスの学園記念室が、このほど「武蔵野音楽大学歴史展示室」と名称を変更し、2025年にリニューアルオープンします。2029年に迎える創立100周年に先がけて、創立から現在までの本学の歴史を、近代日本の音楽教育界を牽引してきた創立者福井直秋などによる当時の「言葉」や数々の「実物」で辿ります。

館内には、創立時の様子を再現するコーナーをはじめ、旧江古田キャンパスや入間キャンパスの模型、教育者・作曲家として活躍した福井直秋の功績を示す自筆譜や名著、年表やエピソードを記載したパネルなどのほか、手紙や文書、演奏会プログラムや数々の写真などの貴重資料約250点が、時系列に沿ってわかりやすく展示される予定です。

この展示室が、学内外の方々に、本学の歴史と建学の精神を様々な観点から理解していただく場となることを願っています。



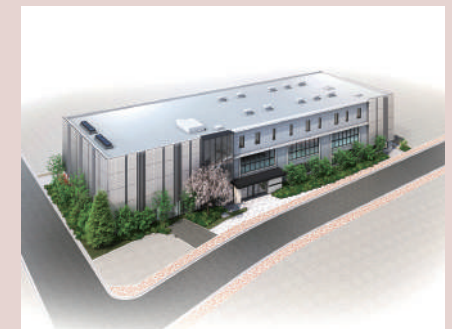
附属高等学校 2027年4月 東京都新キャンパスに移転（予定）

（東京都認可申請手続き中／学校設置計画承認済）

武蔵野音楽学園は、間もなく創立100周年を迎えます。

これを大きな契機として捉え、将来を見据えた上での更なる教育活動の充実のために、附属高等学校を2027年4月に埼玉県入間市から東京都練馬区へ移転します。

移転にあたり、江古田にある武蔵野音楽大学から徒歩3分に位置する新校舎を建設し、また新時代の都市型専門技術教育の在り方を提案しながら、音楽教育のフロンティアへ向かって、新たなキャンパスで生まれ変わります。



※計画パースイメージは2025年2月現在のものであり、今後変更となる可能性があります

「ミュージカル」（2025年度開講）と「吹奏楽総合指導法」（2026年度開講予定） 2つの新しい授業科目がスタート

従来から開講されている「ミュージカル入門」の発展クラスとして、「ミュージカルⅠ～Ⅳ」が2025年度より開講され、歌・ダンス・演技についての知識を、基礎から応用まで深めることが可能になりました。

また、2026年度からは「吹奏楽総合指導法」が開講され、「ポップス合奏指導法」「マーチング指導法」「吹奏楽編曲法」の3つの授業を総合的に学ぶことにより、卒業後、吹奏楽を指導する上での理論から実践までを習得することができま。

上記2つの科目とも、全コースの学生が履修することができる「自由科目」です。

それぞれのジャンルにおいて経験豊富な一流の講師陣による丁寧な指導によって、技術や知識、実践的なスキルをしっかりと身につけ、プロの現場で活躍できる人材を育成します。



武蔵野音楽大学の魅力

M U S A S H I N O A C A D E M I A M U S I C A E



Point 01

音楽芸術を追究するのにふさわしい充実した施設・設備

▶▶P.07～12

日本で初めて「音楽大学」として認可された武蔵野音楽大学は、これまで多くの伝統と実績を築いてきました。日本初の本格的なコンサートホールであり、本学の伝統の象徴でもある「ベートーヴェンホール」のみを残し、全面的に建て替えを行い、2017年に竣工した江古田キャンパスは、音楽芸術を追究するのにふさわしい充実した施設・設備を備えた魅力あふれるキャンパスです。素晴らしい響きの「ブラームスホール」など計6つのホールや、最適な音響のレッスン室・練習室、また日本最大級の所蔵数を誇る「楽器ミュージアム」なども備え、大学キャンパスの枠を超えた、まさに「音楽の街」とも呼べる江古田キャンパスで学ぶ日々は、きっとあなたの音楽性をより豊かにし、夢を実現させる力になることでしょう。



Point 02

柔軟で幅広い学びが可能な魅力あるカリキュラム

▶▶P.15～16

「演奏学科」と「音楽総合学科」の2つの学科では、それぞれのコースの特性に合わせて、柔軟で幅広く学ぶことができるようなカリキュラムが組まれていて、半期ごとに単位を修得できる Semester制を導入しているため、より多くの科目を学修することができます。各コースの専門性をより一層高めることによって、専攻・専門分野に関する学生の知識欲を刺激する一方、学生それぞれの意欲や卒業後に希望する進路に合わせ、学科やコースの枠を超え、さまざまな授業科目を履修できる多彩な「自由科目」も多数開講しています。

Point 03

優れた講師陣による きめ細やかでハイレベルな指導

▶▶P.39～46

学生の学びたい気持ちに充分に応えられるよう、演奏学科、音楽総合学科ともに、経験豊富な優れた講師陣が創造力を高める熱心な指導を行っています。全学生に対して専攻実技担当教員等を配置し、一人ひとりの個性に合わせた指導で、演奏技術や音楽性、それぞれの専門性を高めていくことができます。また、クラス授業科目について気軽に質問ができるオフィスアワーなども設定されているため、どのようなことでも相談しやすい環境が整っています。



Point 05

丁寧なキャリアサポート

▶▶P.63～64

本学では、音楽の素養を持つ人材を求めている音楽系企業をはじめ、一般企業へ就職する学生も多く、また、公立学校教員採用候補者選考においても毎年多数の合格者を輩出するなど、高い就職・進学率を誇っています。就職課では、様々な進路選択をする学生一人ひとりのニーズに合わせ、丁寧なサポートを行っています。



Point 04

都内著名ホールを含む学内外での 多くの演奏機会の提供と 世界的演奏家による公開講座の開催

▶▶P.59～60

管弦楽団とウィンドアンサンブルの年4回の学外有名ホールでの演奏会開催に代表されるように、学生がステージで演奏する多くの機会が設けられているほか、著名な演奏家、指導者を招いて行われる演奏会や公開講座など、本学では年間約120回のコンサートが開催されています。良質の音楽に触れることで豊かな音楽性を育むこれらの演奏体験や活動はすべて自己の成長の糧となります。



Point 06

返還義務の無い 大学独自の奨学金制度

▶▶P.71

本学には、学業、人物ともに優れた学生に与えられる、返還義務の無い奨学金制度「福井直秋記念奨学金」があります。入学者選抜の成績で選考する新入生を対象にしたものと、前年度の学修成績により選考する大学2年次以降の学生を対象としたものがあります。年度ごとに選考、給費しており、毎年多くの学生が受給しています。



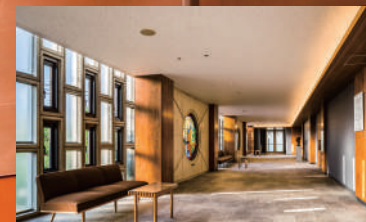
充実した 多彩な施設

FACILITY



施設案内

FACILITY INTRODUCTION
MUSASHINO ACADEMIA MUSICAE



ベートーヴェンホールホワイエ



江古田新キャンパス竣工記念特別演奏会
ケマル・ゲキチ×福井直昭 ピアノデュオリサイタル



ベートーヴェンホール外観

▶ ベートーヴェンホール

1960年に日本で初めての本格的なコンサートホールとして生まれました。日本初のコンサートオルガンが設置され、音響効果の良いホールとして国内外から注目を集め、音楽ファンにも長年親しまれています。客席数は1,043席です。



3Dマップ

▶ ブラームスホール

世界的な建築音響コンサルタントである永田音響設計の監修による音響設計に基づき、様々な材質を組み合わせでできている壁面など意欲的なデザインの中ホールです。客席数は423席です。



3Dマップ



ブラームスホールホワイエ

▶ モーツァルトホール

ヨーロッパのサロンをイメージした「モーツァルトホール」は、リサイタル・室内楽用の約100席のホールで、学生がお互いを触発し合う場として活動できる使い勝手の良いホールです。



3Dマップ





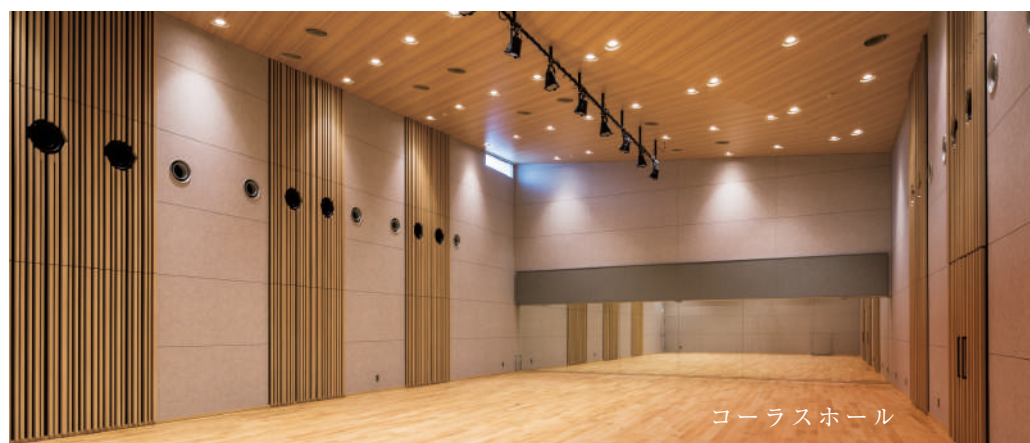
オーケストラホール



ウィンドアンサンブルホール

3つのリハーサルホール

オーケストラ、大合唱、ウィンドアンサンブル（吹奏楽）のための大規模な各専用リハーサルホールは、室内音響に配慮して壁・天井の平行面を排した本格的なデザインで、それぞれの編成の特性を考慮し室形状が最適化されています。



コーラスホール

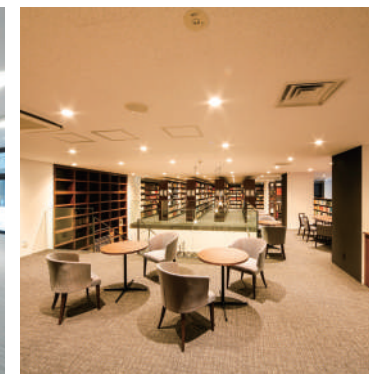
レッスン室

教員と学生の1対1の真剣な教育、対話の場です。対話やリフレッシュのためのラウンジが随所に設けられています。



図書館

メインフロア（1階）、AV資料を中心としたサイレントフロア（2階）、ラーニングcommonsとグループ学修室のアクティブフロア（B1階）の3層構成。



楽器ミュージアム

古今東西の楽器が一堂に集結

日本最大級の楽器コレクション「武蔵野音楽大学楽器ミュージアム」では、世界各地の楽器を公開しています。楽器は4つの展示室に分けられ、美しく分かりやすく展示されています。楽器ミュージアムは、大学と社会をつなぐ窓口として一般にも開放しています。



録音スタジオ

五重奏程度の編成までの録音が可能な録音スタジオは、プロユースにも耐えられ、さまざまな機材は、操作に関する授業等に使用されます。



共用スペース



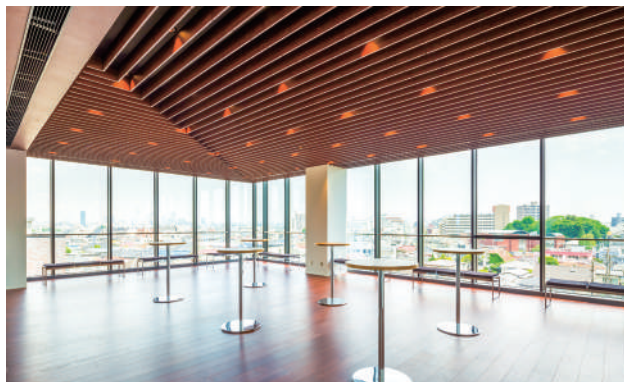
▶ リストプラザ

キャンパス中央にあり、地下1階に掘り下げたリストプラザは、集いの中心として、学生たちの新しい交流を生み出しています。



▶ メインロビー

2層吹き抜けのメインロビーは、ガラス張りによってリストプラザと一体になった開放感あふれる空間です。



▶ 展望ラウンジ“Bis”

校舎最上階の展望ラウンジからは富士山や東京スカイツリーをはじめとする一大パノラマが楽しめ、語らいの場となっています。



▶ ヴェルディロビー

ロビー周辺には、ヤマハ、コピーコーナー、学生用掲示板が設置され、学生にとってキャンパスのリビングのような空間です。



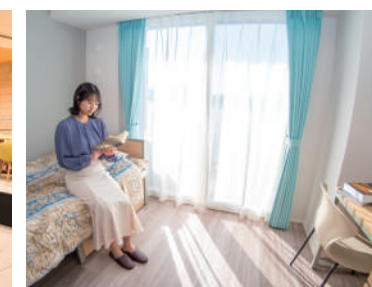
▶ キャンパスレストラン“Intermezzo”

「銀座スエヒロ」が運営を手掛けるカフェテリア形式。ケリー・レモン氏のイラストが描かれた店内からは、四季の変化やキャンパスの賑わいを感じられます。



▶ ヤマハ銀座店 武蔵野音大ショップ

さまざまな楽譜に加え、楽器付属関連商品も充実させています。日常で必要とする一般雑貨も提供しています。



▶ 武蔵野音楽大学学生レジデンス「Flügel」 フリュゲル

2024年に完成した女子学生寮は、キャンパスへは徒歩2分以内に位置しています。プライベートな空間が確保された完全個室の居室にはバスルーム、トイレが独立して設置され、家電・家具・インターネット環境が標準装備されています。また、ラウンジなど一人暮らしでは得られない広い共用スペースも完備しています。

PICK UP 撮影協力

本学のキャンパスは映画やドラマ等のロケ地として使用されているほか、さまざまな作品の撮影に協力しています。

【撮影に協力した主な作品】

映画

「片思い世界」
「僕らは人生で一回だけ魔法が使える」
「ディア・ファミリー」
「ブレイブ―群青戦記―」
「蜜蜂と遠雷」
「羊と鋼の森」
「あさひなぐ」

その他

FM西東京「突撃!! お昼の学校!」
中部電力CM 藤井聡太なら。吹奏楽篇
NHK Eテレ「芸能きわみ堂」
NHK連続テレビ小説「らんまん」ファンミーティング
日本テレビ「ZIP!」
宝くじ「クイックワン」CMオーケストラ篇
集英社「non-no」2023年5月号
日本テレビ「news every.」
テレビ東京「シナぷしゅ」ほか

ドラマ

テレビ朝日「ケイジとケンジ、時々ハンジ。」
日本テレビ「リバーサルオーケストラ」
Netflix シリーズ「First Love 初恋」
テレビ東京「真夜中にハロー!」
テレビ朝日「和田家の男たち」
日本テレビ「ウチの娘は、彼氏が出来ない!!!」
Amazon Original ドラマ「ホットママ」
NHK連続テレビ小説「エール」ほか



© 2024「ディア・ファミリー」製作委員会

充実したさまざまな練習室



個人練習室、2台ピアノ練習室、アンサンブル練習室など全118室あり、さまざまな規模・形態・特性に応じた最適な音響環境を完備しています。

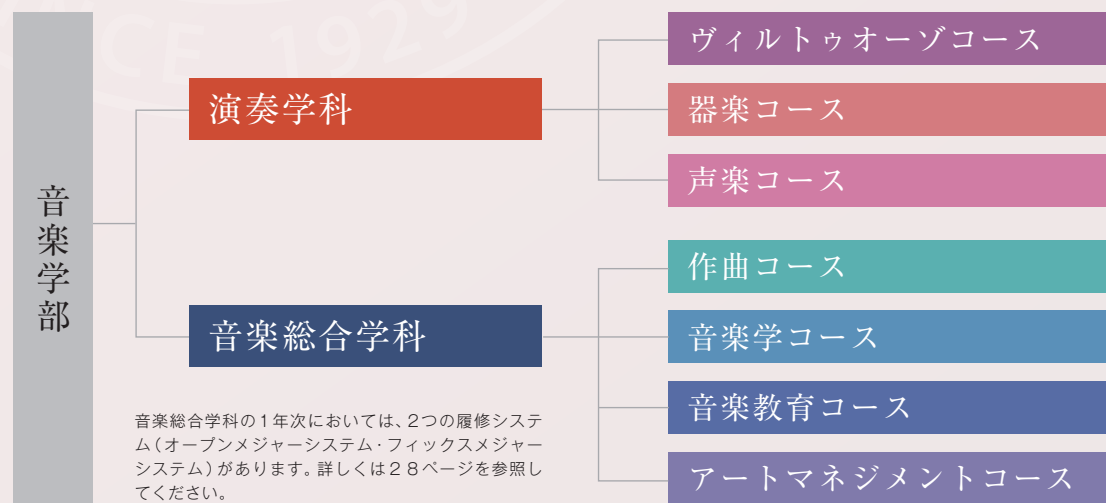


世界に通用する人材を 育成する学びの形

EDUCATION

高い専門性と深い教養を身につけ

世界に通用する人材を育成するために組織された2つの学科



2つの学科では、専攻実技や専門分野の科目を充実させることはもちろん、音楽理論や音楽史などの基礎科目の充実、徹底を図るとともに、学生のさまざまな進路に応じて、専門科目や自由科目を横断的に履修する選択肢を拡げています。



音楽学部(学士課程)の教育研究目的

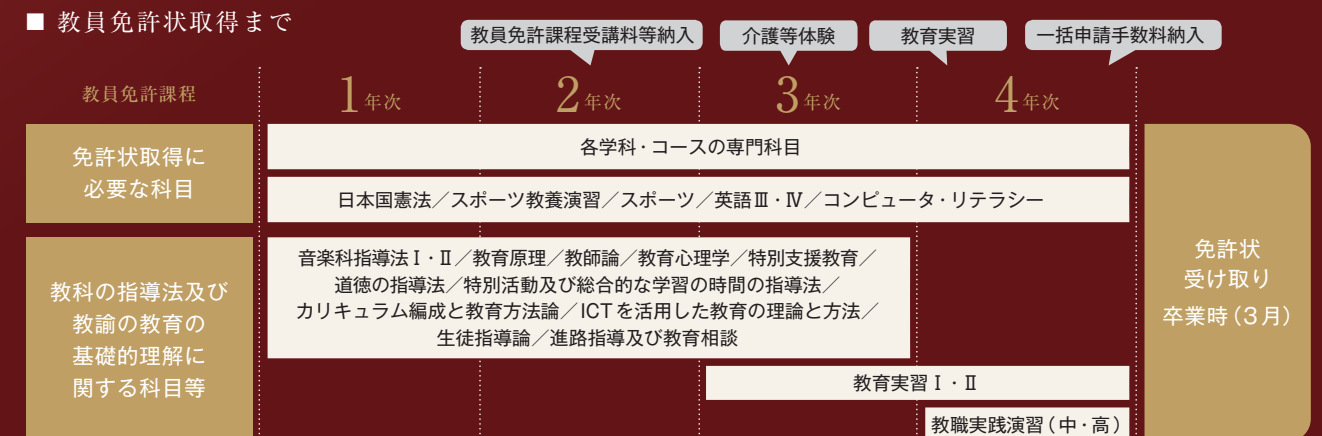
武蔵野音楽大学音楽学部は、本学教育方針「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」に基づき、専攻分野における専門的知識と技術を修得させるとともに、共通の基礎専門教育としてソルフェージュ・音楽理論・西洋音楽史等の基礎的知識、ならびに広い視野に立って総合的な考察をするために必要な外国語科目・教養科目(保健体育を含む)を教授研究する。また、さまざまなコンサート・オーディション・研究発表等の実践活動への参加、ならびに実習・課外学修・インターンシップ等の現場体験を積ませる。これらの教育研究を通して、思考力・判断力・表現力を磨き、芸術的創造力を養い、さらに、専門家を目指して真摯に音楽活動に取り組む意欲を高めて、演奏家、作曲家、研究者、教育者、芸術活動に関わる企画・運営等に携わる者として、多様な社会の要請に応え、文化芸術活動に貢献する人格豊かな人材を育成することを目的とする。

教育職員免許状・学芸員資格 すべてのコースで取得可能

教員免許課程

教員免許課程において必要な単位を修得することで、中学校教諭一種免許状(音楽)と高等学校教諭一種免許状(音楽)を取得することができます。

- 取得できる免許状の種類と教科…中学校教諭一種免許状(音楽)・高等学校教諭一種免許状(音楽)
※上記免許状を取得した者が大学院に進学し課程を修了した場合、中学校教諭専修免許状(音楽)、高等学校教諭専修免許状(音楽)を取得することができます。



小学校教員免許状取得について

教員免許課程を履修する学生を対象に、明星大学通信教育課程との提携により、小学校教員免許状を取得する道が開かれています。本学の課程に加え、明星大学通信教育課程のスクーリングや通信教育を受講することで、小学校教諭二種免許状が取得可能です(編転入学者を除く)。

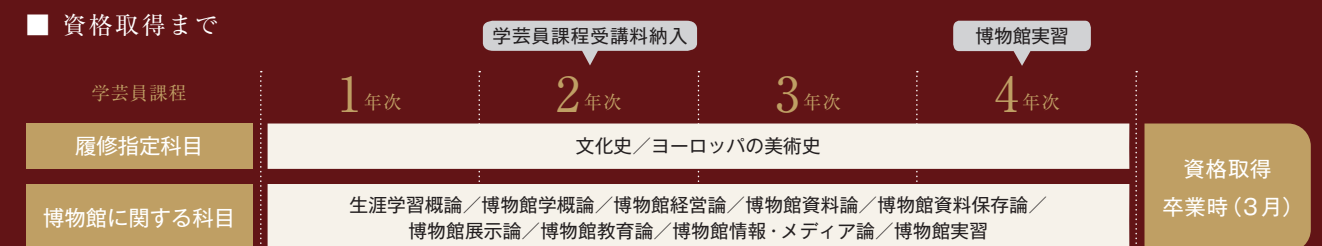
■ サポート体制

本学では介護等体験や教育実習に備え、それらを実施する約1年前からさまざまな内容のガイダンスを重ねています。そして、職員が早い段階から実施直前まで学生と個人面談を行い、一人ひとりのニーズに合った対応をしています。さらに、教育実習直前には、「指導案作成の仕方(中学・高校、公立・私立などクラス分けをして指導)」、「合唱指導法」、学内講師・外部講師による「集中授業」等を行っています。また、教職員が事前に実習に向かう学生と面談を行った後、日本全国すべての実習校を訪問するなど、学生が実習校で十分成果が発揮できるよう、きめ細かいサポートを行っています。

学芸員課程

学芸員とは博物館法に基づいた専門職のことであり、博物館や美術館等で資料の収集、保管、展示および調査研究等に携わることができます。本学が開設する学芸員課程では、文部科学省令の定める博物館に関する科目の単位を修得することで、学芸員資格を取得することができます。

■ 取得できる資格…学芸員資格



■ サポート体制

本学が開設する学芸員課程の「博物館実習」は、通常の講義とともに、社会教育施設での実務実習を行います。実習は、日本最大の所蔵数を誇る本学の楽器ミュージアムで行われますが、希望する学生は学外の施設(美術館・博物館などの文化施設)で行うことも可能です。音楽を中心とした芸術文化をより深く理解するとともに、社会教育施設での実践力を身につけられるようにサポートを行っています。

武蔵野音楽大学の主なカリキュラム

授業科目は「必修科目」「選択科目」「自由科目」に分かれています。

「自由科目」ではどの学科、コースの学生も履修することができ、自分自身で選択をすることにより、自主的に学ぶ姿勢を身につけることができます。将来どのような進路に進みたいかなどを考えながら、音楽分野問わず幅広く学ぶことや、自分の専攻に関係する専門的な科目を掘り下げることにより、一人ひとりの目標の実現に向けて、着実に力をつけることができるカリキュラムとなっています。

		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
必修科目／選択科目	ヴァルトゥオーゾコース	専攻実技／ソルフェージュ／和声／西洋音楽史／初見演奏法／管打楽器合奏／管弦楽 など	専攻実技／ソルフェージュ／和声／西洋音楽史／レパートリー研究／管打楽器合奏／管弦楽 など	専攻実技／演奏ゼミナール／即興演奏入門／オーケストラスタディ／オペラ基礎演技／ミュージカルなど	専攻実技／卒業演奏／ピアノアンサンブル研究／管弦楽／オペラ基礎演技／ミュージカル など
	器楽コース	専攻実技／ソルフェージュ／和声／西洋音楽史／管打楽器合奏／管弦楽 など	専攻実技／ソルフェージュ／和声／西洋音楽史／伴奏法基礎／管打楽器合奏／管弦楽 など	専攻実技／即興演奏入門／オーケストラスタディ／管打楽器合奏／管弦楽／鍵盤音楽史 など	専攻実技／卒業演奏／オーケストラスタディ／管打楽器合奏／管弦楽 など
	声楽コース	専攻実技／ソルフェージュ／和声／西洋音楽史／声楽アンサンブル／混声合唱 など	専攻実技／ソルフェージュ／和声／西洋音楽史／ディクション／室内合唱／混声合唱 など	専攻実技／混声合唱／室内合唱／オペラ基礎演技／オペラ重唱／ミュージカル など	専攻実技／卒業演奏／混声合唱／室内合唱／オペラ基礎演技／ミュージカル など
必修科目	全コース共通	外国語科目 英語／基礎ドイツ語、基礎イタリア語、基礎フランス語よりいずれか1科目	英語／基礎ドイツ語、基礎イタリア語、基礎フランス語よりいずれか1科目	3、4年次の外国語科目は自由科目です。	
		教養科目 キャリアデザイン（導入編）	キャリアデザイン（展開編）		
		+			
		自由科目			

		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
音楽総合学科	必修科目／選択科目	オープンメジャーシステム	基礎科目・専門科目	基礎科目 音楽の世界史／音楽心理学(基礎)／現代社会と音楽／現代と音楽ビジネス／音楽指導実践(基礎)／ポピュラー・カルチャー論／デジタルメディア進化論／ビジネスマナーとコミュニケーション能力／音楽アナリゼ(基礎)／音楽アナリゼ(発展)／楽譜作成ソフトウェア講座	作曲 2年次に「音楽基礎理論」を履修、他はフィックスメジャーシステムの作曲コースと同じ科目
				音楽学 2年次に「音楽学概論」を履修、他はフィックスメジャーシステムの音楽学コースと同じ科目	
				音楽教育 2年次に「音楽教育学概論」を履修、他はフィックスメジャーシステムの音楽教育コースと同じ科目	
				アートマネジメント 2年次に「アートマネジメント研究(基礎)」を履修、他はフィックスメジャーシステムのアートマネジメントコースと同じ科目	
	フィックスメジャーシステム	作曲コース 作曲法／ピアノ／ソルフェージュ／西洋音楽史／記譜法／音楽基礎理論 など	作曲法／映像音楽概論／DAW／オーケストレーション など	作曲法／創作応用研究／DAW／オーケストレーション など	作曲法／創作応用研究／卒業作品／楽曲アナリゼ など
		音楽学コース 音楽学概論／ピアノ／ソルフェージュ／和声／西洋音楽史 など	音楽学研究／楽書講読／日本音楽史 など	音楽学研究／楽書講読／特別演習／音楽美学 など	音楽学研究／音楽ジャーナリズム論／総合演習／卒業論文 など
		音楽教育コース 音楽教育学概論／基礎実技／ソルフェージュ／和声／西洋音楽史 など	音楽教育史／音楽指導実践研究／アンサンブル指導法 など	音楽指導実践研究／音楽実技／音楽心理学研究 など	卒業論文演習／卒業論文／生涯教育・社会福祉と音楽 など
		アートマネジメントコース アートマネジメント研究(基礎)／音楽実技／西洋音楽史 など	アートマネジメント研究(応用)／舞台技術概論 など	アートマネジメント実習／コンピュータ音楽実習 など	アートマネジメント研究(応用)／企画制作演習／卒業論文 など
必修科目	両システム全コース共通	外国語科目 英語／基礎ドイツ語、基礎イタリア語、基礎フランス語よりいずれか1科目	英語／基礎ドイツ語、基礎イタリア語、基礎フランス語よりいずれか1科目	3、4年次の外国語科目は自由科目です。	
		教養科目 キャリアデザイン(導入編)	キャリアデザイン(展開編)	 	
+					
自由科目					

		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
自由科目	専門科目	ミュージカル入門 メンタルトレーニング入門 音楽療法入門 舞台芸術概論	スコアリーディング オルフの音楽教育 音楽イノベーション 合奏 和楽器 日本伝統歌唱	伴奏法 指揮法 吹奏楽指導法研究 ピアノ指導法研究 合唱指導法研究 演劇論・演出論	鍵盤音楽史 管弦楽史 歌曲史 オペラ史 宗教音楽史 通奏低音
	外国語科目	1、2年次の外国語科目は必修科目です。		コミュニケーション英語 リーディング&ライティング英語	基礎ドイツ語 基礎イタリア語 基礎フランス語
	教養科目	哲学 美学	音と響きの科学 自然科学概論	日本演劇文化論 日本語表現法 文化史	室内楽・重奏※ （ピアノ／木管楽器／金管楽器／弦楽器） 様々な音楽の演奏実践 （西洋古楽／雅楽／箏曲）
	基礎科目	音楽の世界史 音楽心理学（基礎） 現代社会と音楽	現代と音楽ビジネス 音楽指導実践（基礎） ポピュラー・カルチャー論	デジタルメディア進化論 ビジネスマナーとコミュニケーション能力	音楽アナリーゼ（基礎） 音楽アナリーゼ（発展） 楽譜作成ソフトウェア講座

演奏学科

THE DEPARTMENT OF MUSIC PERFORMANCE

ヴィルトゥオーゾコース
有鍵楽器・管楽器・打楽器・弦楽器・声楽 p.19

器楽コース
有鍵楽器・管楽器・打楽器・弦楽器 p.21

声楽コース p.25

高い専門性と豊かな表現力 ～演奏する身体を意のままに操る喜び

能力や個性に合わせた密度の濃いレッスン
高度な技量と音楽性を身につけ、演奏会やコンクールに挑む

演奏学科の特徴

能力や個性に合わせて質の高い学びを追究

演奏学科のヴィルトゥオーゾ、器楽、声楽の3コースでは、それぞれのコースで能力や個性に合わせた個人レッスンが行われています。優れた指導者による密度の濃い充実したレッスンによって、学生一人ひとりが高度な技量と音楽性を身につけることができます。さらに、本学では海外から著名な演奏家・指導者を客員教授として招き、随時特別レッスンや公開講座、演奏会などを実施しています。これらは専門分野の技術向上に役立つだけでなく、演奏学科の学生にとって専攻を超えた幅広い視野を獲得することができる絶好の機会となっています。

舞台での演奏が多数経験できることも、演奏学科の特徴の一つです。コース別に演奏会形式の公開試験を実施し、さらに学内外のホールでは、オーケストラや合唱団、ウィンドアンサンブルの定期公演のほか、数々の合奏・オペラ授業の発表、国内外への演奏旅行もあります。このような機会は学生たちにとって貴重な経験であると同時に、これらを目指して研鑽を積むことが各々の技術を格段に向上させることにつながっています。

演奏学科の学生には4年間の集大成としてペートーヴェンホールでの「卒業演奏」が課せられます。この演奏で優秀な成績を修めた学生は、本学卒業演奏会への出演のほか、本学主催あるいは一般社団法人主催の新人演奏会などに出演することができます。

卒業後の 進路例

- | | | |
|-----------|--------------|-----------------|
| ■大学院進学 | ■オペラ歌手 | ■小学校・中学校・高等学校教員 |
| ■海外留学 | ■合唱団員 | ■音楽教室講師 |
| ■演奏家 | ■ミュージカル歌手 | ■吹奏楽指導者 |
| ■指揮者 | ■音楽隊隊員 | ■音楽系企業 |
| ■オーケストラ団員 | （自衛隊・警察等） | ■音楽出版社 |
| ■伴奏ピアニスト | ■サウンド・クリエイター | ■音楽出版 |
| ■コレペティートル | ■大学教員 | ■民間企業 |

「第2副科」の制度を新設

演奏学科のカリキュラムには副科実技（ピアノ・声楽）が従来から設定されていますが、この副科実技の他に、2024年度よりさらに別の副科実技の個人レッスンを有料オプションで履修できる「第2副科」の制度が設けられました。例えば、ヴァイオリン専攻の学生が、副科ピアノの他に、ヴィオラを履修できたり、ピアノ専攻の学生が、声楽や他の楽器を個人レッスンで履修できます。なお、この「第2副科」の単位は第3年次進級基準及び卒業要件に含みませんので、履修は自由となります。各自の関心や必要に応じて本学ならではの多彩で専門的な副科実技の制度を、大いに活用してください。

ヴィルトゥオーゾコース

世界というステージで活躍する、プロの演奏家への途

有鍵楽器専修

打楽器専修

声楽専修

管楽器専修

弦楽器専修



PROFESSOR'S MESSAGE

失敗した悔しさを味わうことが、 人生をより豊かなものに

福井 直昭 学長 ヴィルトゥオーゾコース長・教授（ピアノ）

音楽家には日々の継続した練習・努力が必要で、孤独な作業を強いられることも多々ありますが、今やるべきことをやり抜くことは、自身の潜在能力を開花させる大きな原動力となります。そして、本番で成功した喜び、いや、むしろ失敗した悔しさを味わうことこそ、結果的に次のステップへつながるだけでなく、人生をより豊かなものにします。皆さんが、本学においてできるだけ多くの達成感や充実感を味わいながら、少しでも大作曲家たちの作品の真理に近づけるよう、我々教職員は、本学が誇る施設・設備の中、全力でサポートしていきます。

PROFILE: 慶應義塾大学経済学部卒業、武蔵野音楽大学大学院修士課程修了、ミュンヘン国立音楽大学留学。クロイツァー賞、ブルガリア国際コンクール「Music & Earth」全部門グランプリ大賞、下総晩音楽賞等受賞多数。ブルガリア国立放送交響楽団など著名なオーケストラや指揮者と協演。武蔵野音楽大学学長。



ヴィルトゥオーゾコースの教育研究目的

ヴィルトゥオーゾコースは、器楽又は声楽の専攻実技教育、すなわち演奏技術の修得に特に重点を置くコースです。充実した専攻実技の個人レッスン、各種アンサンブルの授業に加え、レパートリー研究や演奏解釈研究等、演奏活動に深く関わる実践的なカリキュラムにより、幅広い知識と音楽性を養い、演奏家としての自覚を促します。リサイタル形式の卒業演奏、数多くの公開試験、および学内外のホールでの実践的な舞台経験を積ませ、多くのレパートリーと高度な演奏能力を備えた演奏家として、文化芸術活動に貢献できる人材の育成を目的とします。

コースの特徴

POINT 1 実技教育に特化した プロの演奏家を育てるコース

「ヴィルトゥオーゾ」とは、「音楽の名手」、「芸術（音楽）の技術に優れた人」を意味するイタリア語で、その名の通り、プロの演奏家を育てるためのコースです。器楽または声楽の実技教育に重点を置き、将来の演奏活動に直接関係する実践本位の独自のカリキュラムが組まれていて、器楽、声楽ともにプロとしての演奏活動の根幹となる豊かな専門知識と演奏技術を身につけることができます。また、数多く設けられている演奏の機会は、日頃の成果を発揮する場としてはもちろん、課題を見据え、目標を設定するための重要なステップでもあります。このほか、本学では海外の著名な演奏家・指導者を客員教授として招き、随時特別レッスンや公開講座、演奏会などを実施しており、これらの機会を通じ、演奏家としての学びの幅を広げていくことにより、まさにヴィルトゥオーゾへと続く道が整えられています。

POINT 2 実践本意のカリキュラム 夢を実現しようとする学生をサポート

ヴィルトゥオーゾコースでは、国内外の優れた講師による充実した専攻実技レッスン（90分）を受けることができます。また、専攻に応じた合奏・室内楽・合唱・重唱等の授業に加えて、楽曲の解釈にとって欠かすことのできない「レパートリー研究」や、一つの作品について演奏解釈の違いを比較、考察する「演奏ゼミナール」など、実学の詰まった科目が必修科目として組み込まれています。さらに、リサイタル形式の公開演奏試験、選抜されたヴィルトゥオーゾコースの学生による「ニュー・ストリーム・コンサート」など、学内外での実践的な舞台経験を数多く積むことで、多くのレパートリーと高度な演奏能力を体得することができます。学内のホールをはじめ都内の著名なホールでの演奏経験や、演奏会形式の試験などにより培われた実践力は、プロの演奏家になる夢を実現させるための大きな力となっています。

FOCUS

ニュー・ストリーム・コンサート

ヴィルトゥオーゾコースの在学生の中で、前年度の实技試験の成績優秀者の中から選抜された学生が出演するコンサートです。トッパンホールなどの都内の著名なホールや本学のブラームスホールにおいて、年に3回ほど開催されています。世界で活躍できるような“プロの演奏家”を目指し、日々研鑽を積み、技術の向上に取り組んでいるヴィルトゥオーゾコースの学生にとって、その成果を大きなステージで発揮できるこのコンサートへの出演は、とても励みになると同時に、貴重な実践経験を積むことができる大変重要な機会となっています。



NEWS

中村友亮さん（本学4年）が東京都交響楽団に入団

本学ヴィルトゥオーゾコース4年の中村友亮さんが、東京都交響楽団の楽員募集オーディションに合格し、2025年2月1日に、東京都交響楽団の打楽器奏者として入団しました。

高校生の頃からの夢でもあった、オーケストラのプレイヤーになることができ、大変嬉しく思います。大学では、尊敬する先生による個人レッスンだけでなく、合奏やオーケストラ・スタディの授業、数々の演奏発表の機会など、プロの演奏家を目指すために必要な充実した学修環境が整っていて、これらの学びがオーディションの合格に結び付いたと感じております。これからも常に向上心を持ち音楽と真摯に向き合い、音楽家として更に成長できるように努力を続けていきたいと思います。

中村友亮 ヴィルトゥオーゾコース 打楽器専攻 4年
岡山学芸館高等学校出身
2025年より東京都交響楽団打楽器奏者

©平館平

器楽コース

有鍵楽器専修	打楽器専修
管楽器専修	弦楽器専修

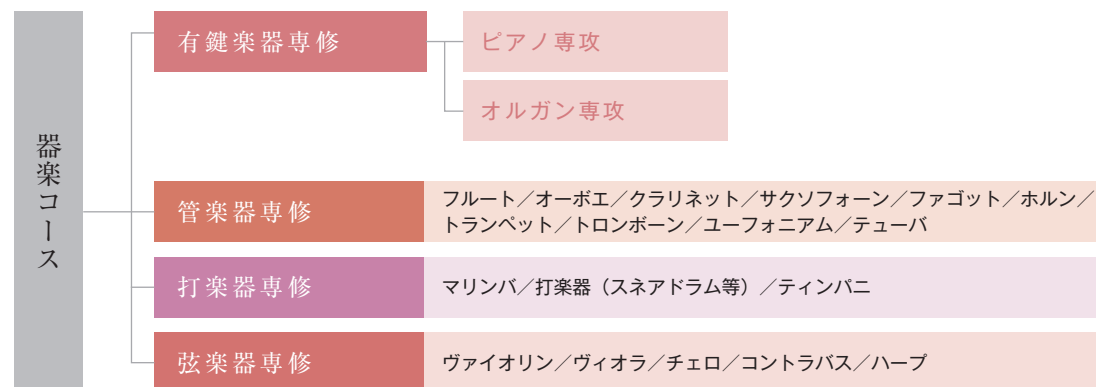
器楽コースの教育研究目的

器楽コースは、実技個人レッスンにおいて、各専攻楽器の奏法の基礎を修得し、これを発展させるコースです。独奏の学修に加え、伴奏・デュオ・室内楽・合奏・吹奏楽・管弦楽等のさまざまな演奏形態や、楽曲とその背景にある文化や歴史を各専攻のカリキュラムによって学修します。さらに公開試験や演奏会等、学修の成果を発表する機会を多く設けて、実践的な経験を積ませることで、より豊かな表現力を身につけさせ、演奏家、指導者として文化芸術活動に貢献できる人材の育成を目的とします。

器楽コースの概要

器楽コースは、有鍵楽器、管楽器、打楽器、弦楽器の4つの専修で構成されています。マンツーマンの専攻実技レッスン（60分間）を通して一人ひとりの演奏能力を高めていきます。また、コンサート形式で行う実技試験である「グループコンサート」や、そのグループコンサートの成績優秀者が演奏を披露する「選抜学生によるコンサート」、本学管弦楽団と協演することができるコンチェルトの「ソリストオーディション」など、舞台経験を積むためのさまざまな発表の場や挑戦の機会も設けられています。初見演奏法や伴奏法などの実践に役立つ授業も充実していて、管楽器、打楽器、弦楽器の各専攻では、1年次からオーケストラや吹奏楽の合奏授業によりアンサンブル能力を向上させることが可能です。4年次全員に課せられた「卒業演奏」では、4年間の学びの成果をベートーヴェンホールのステージで発揮します。教員免許課程を履修する学生も非常に多く、それぞれの将来を見据えた興味や関心、進路に合わせて「自由科目」や「第2副科」を履修することで学びの幅を広げ、演奏家はもちろん、音楽の教員や指導者、音楽系や民間の企業においても、本学での学びを活かし多方面にわたり活躍することができる人材を育成しています。

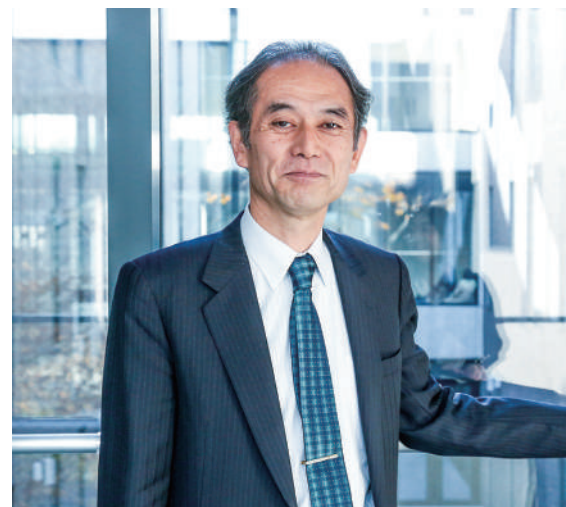
〔開講している専攻楽器〕



有鍵楽器専修

ピアニスト、オルガニストとしての高度な演奏に結実、プロの音楽家になるチャンスも

開講している専攻楽器 ピアノ／オルガン



PROFESSOR'S MESSAGE

音楽にあふれたキャンパスで、感性を磨き技術の研鑽を

田代 慎之介 演奏学科長 器楽コース長・教授（ピアノ）

江古田キャンパスは、リストプラザを中心に学生たちの若いエネルギーが明るく光りを放っていて、いつも音楽にあふれています。きめ細やかな個人レッスンとともに、アンサンブルや伴奏法などの実践的な授業、また、学生によるコンサートなどの演奏機会も設けられた充実したカリキュラムのもと、専門分野の研鑽と同時に、音楽の真の美しさを感じ取る感性を磨き、長き生涯にわたり音楽を自らの支えにできる基盤を形成してください。

PROFILE: 東京藝術大学、同大学院修了、クロイツァー賞受賞。第52回日本音楽コンクール入選、海外派遣コンクール河合賞受賞。1984～86年ハンガリー政府給費留学生としてリスト音楽院に留学。エビナル、マリア・カナルス、両国際コンクール入賞。以降、東京、札幌で定期的にリサイタルを開催。CDも多数リリースしている。

コースの特徴

〔ピアノ専攻〕

POINT 1 多彩な授業によりさらに高度なピアノ演奏へ、協奏曲を演奏するチャンスも

基本となるソロのレパートリー修得に加え、1、2年次では「初見演奏法」、「伴奏法基礎」などを、3、4年次では「ピアノアンサンブル研究」や「即興演奏入門」を学び、ピアノ技術をより高度な演奏へと結実させるカリキュラムが組まれています。多彩な自由科目からは進路に応じたものを選ぶことができ、ソリストオーディションで選ばれた学生は、毎年国内外で行われる本学管弦楽団演奏会において協奏曲を演奏できます。

〔オルガン専攻〕

POINT オルガン専攻独自のカリキュラムと、6台のパイプオルガンで演奏法を修得

本学には、小型から大型まで6台のパイプオルガンがあり、特に江古田キャンパスのベートーヴェンホールと入間キャンパスのバツハザールにあるオルガンは国内最大級のスケールです。学生はこれらのオルガンをレッスンで使用し、幅広い時代のレパートリーを学ぶことができます。また、バロック音楽の基礎となる「通奏低音」や「即興演奏法」などオルガン専攻ならではの授業もあり、合唱やオーケストラとの共演も含め、総合的なオルガン演奏の知識と技術を体得できます。



管楽器専修

さまざまなステージでさまざまな楽器が織りなす、ソロだけでは味わえないアンサンブルの喜びを体験

開講している専攻楽器 フルート／オーボエ／クラリネット／サクソフォン／ファゴット／ホルン／トランペット／トロンボーン／ユーフォニアム／チューバ



PROFESSOR'S MESSAGE

夢の実現、そして真善美の追求

高久 進 教授（フルート）

すべての学問の上には真善美があります。音楽を学ぶことは真善美の追求にほかなりません。本学では、オーケストラなどでの演奏経験豊かな講師陣のもと、演奏技術だけでなく人間的な意味でも、皆さんが将来の夢や希望を叶えるために必要な多くのことを学ぶことができます。また、仲間とともに音楽を作り上げる喜びと感動は、一生の宝となるでしょう。学んだことを生かし、演奏家、教育者、また音楽業界などでの社会貢献ができる人材を育てていきます。

PROFILE: 武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。東京フルートアンサンブルアカデミーのメンバーとして海外を含む多数の音楽会に出演しCD録音、クリニックを行う。また「新しい楽器学体系」(共著)の執筆を手がける。第35・38回日本管打楽器コンクールフルート部門審査委員長。日本フルート協会常任理事。

コースの特徴

POINT 1 大編成の管弦楽団・吹奏楽団で「音」を作り上げる喜び

国内外のオーケストラなどで豊かな演奏経験を持つ指導者や、現役の一流プレイヤーがレッスンを担当しています。個人レッスンに加え、管弦楽やウィンドアンサンブル(吹奏楽)、管楽合奏などの合奏授業も充実しています。さらに習熟の発表機会としての演奏会は学内外のホールを使用し、大小さまざまな形式で行われているほか、管弦楽団やウィンドアンサンブルは、国内外への演奏旅行やレコーディングなども積極的に行い、常に高い評価を得ています。

POINT 2 プロへの夢を実現させるカリキュラム

将来オーケストラのプレイヤーを目指す学生のために、プロのオーケストラ奏者としての経験を持つ教員による「オーケストラスタディ」(管弦楽曲のレッスン)も開講しています。また、「室内楽・重奏」などの専門性の高い授業も選択でき、その成果をステージで発表する機会も数多く設けられています。独学では決して学ぶことのできない管弦楽・吹奏楽の合奏授業では、「自分たちだけの音」を作り上げていきます。

打楽器専修

豊富な打楽器類と最新の充実した施設により、一人ひとりの個性を伸ばす

開講している専攻楽器 マリンバ／打楽器(スネアドラム等)／ティンパニ



PROFESSOR'S MESSAGE

音楽は心身への波動、打楽器はその原点。良い波動を世界に。

中谷 孝哉 教授（打楽器）

古来より打ては響く、と言う言葉があります。鼓舞する、と言う言葉もあります。音楽は心身への波動の芸術です。打楽器はその典型であり原点とも言えます。打楽器活動は良い波動を作り、仲間と連帯し、お互いに鼓舞、躍動させる事ができます。そして、個性、アイデンティティ、多様性を大切にして、音楽をエンジョイしましょう。打楽器でできる事、そしてできない事、両方の追求が必要です。打楽器の世界を広げ、深め、豊かにする事、同時に他から必要とされる打楽器奏者になる事。チャレンジしましょう。

PROFILE: 東京藝術大学大学院修了。新日本フィルハーモニー交響楽団打楽器を20年間担当。第1回日本管打楽器コンクール打楽器部門で1位。サイトウ・キネン・オーケストラ、ボストン交響楽団、ベルリン・フィルにも出演。オーケストラやアンサンブル等で世界18カ国にて演奏。タヤ・チブタ・マリンバ主宰。

コースの特徴

POINT 1 充実したカリキュラムで伸びる個性

数あるオーケストラパートの中でも最もプリミティブな楽器である打楽器は、より人間の感情が表現される楽器とも言えます。幅広い経験を持つ指導者により、豊富な打楽器類や10室にもおよぶ打楽器専用のレッスン室・練習室を使用し、一人ひとりの個性を尊重し、豊かな感受性と独自の表現力を育む個人レッスンを行っています。アンサンブル演奏の機会も多く、他楽器とのオーケストラ演奏や吹奏楽演奏、打楽器同士による複合的な表現力も身につきます。

POINT 2 さまざまなジャンルのレパートリーを拡げる

レッスンでは古典から現代までの打楽器作品の研究や、西洋音楽を中心とした幅広い演奏法が学べます。また「オーケストラスタディ」(管弦楽曲のレッスン)などによって、さまざまなジャンルの作品をレパートリーにすることができます。管弦楽やウィンドアンサンブル(吹奏楽)などの合奏授業の発表の機会として著名なホールでの定期的なコンサートや国内外への演奏旅行などもあり、多彩な演奏経験を積むことで、習熟した技能を身につけています。

弦楽器専修

オーケストラや室内楽、多くの経験を糧に自分の音楽を成長させる

開講している専攻楽器 ヴァイオリン／ヴィオラ／チェロ／コントラバス／ハープ



PROFESSOR'S MESSAGE

失敗を恐れず積極的な姿勢で、専門分野を学ぶ

深山 尚久 教授（ヴァイオリン）

勉強のルールがある程度敷かれていた高校までとは違い、大学では自分が学びたいと思うことを専門的に学ぶことができますが、一方そのための気力と真のモチベーションが問われます。やり直しには大きなエネルギーが必要です。悔いのない選択をしましょう。本学では、学生それぞれの性格に合わせ、長所を伸ばすことを第一に考えて指導をしています。ぜひ失敗を恐れず、積極的な学生生活を送ることをお勧めします。

PROFILE: 東京藝術大学、同大学院修了。文化庁海外芸術家派遣研修員としてドイツに留学。東フィル、新星日響、札幌、広響、神奈川フィル、東響、静響のコンサートマスターを歴任。国内ほとんどのプロ・オーケストラの客演コンサートマスターを務める。深山アカデミー主宰、日本弦楽指導者協会会長。

コースの特徴

POINT 1 多様なニーズに応える充実したカリキュラム

国内外の一流プレイヤーが学生の音楽性と演奏技術の向上を目指して指導します。また、音楽を学ぶ基礎となるソルフェージュ、和声などを総合的に学ぶほか、管弦楽、室内楽、重奏等、弦楽器奏者にとっての経験として欠かすことのできないさまざまな合奏授業が用意されており、将来の進路を見据えてキャリアを積むことができます。弦楽器および音楽全体に習熟した演奏家、指導者として芸術文化の発展に貢献できる人材の育成を目的としています。

POINT 2 さまざまな演奏経験で幅広い分野で活躍できるプレイヤーを育成

定期的に行われるオーケストラや室内楽の演奏会をはじめ、公開での実技試験、選抜学生コンサートなど、多彩な演奏経験を積む機会が用意されています。特にオーケストラプレイヤーを目指す学生のためには、プロのオーケストラ奏者としての経験を持つ教員による「オーケストラスタディ」(管弦楽曲のレッスン)の授業も開講されています。さらに、ソリストやアンサンブルメンバーを選抜するためなどのさまざまなオーディションも行われています。



声楽コース

舞台上で歌える喜び、さまざまな楽器との共演
体が楽器の声楽の魅力を実感



PROFESSOR'S MESSAGE

さまざまな分野での成長を 優れた講師陣がきめ細やかに指導

佐藤 美枝子 声楽コース長・教授

声楽コースには、多岐にわたる授業があり、基礎はもちろん総合芸術として内容を深めるために不可欠なカリキュラムが整っています。本学の建学の精神を重んじ、仲間との繋がりを大切に、ともに切磋琢磨することで社会性を養い、さまざまな分野で大きく成長できるよう、エキスパートである優れた教員がきめ細やかに指導していきます。乾いたスポンジが水を含むように、たくさんの学びを吸収し、有意義な学生生活を満喫してください。

PROFILE: 武蔵野音楽大学卒業。第11回チャイコフスキー国際音楽コンクール声楽部門第1位。第7回五島記念文化賞オペラ新人賞、第9回出光音楽賞、第10回新日鐵音楽賞フレッシュアーティスト賞、第50回ENEOS音楽賞洋楽部門本賞受賞。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。



声楽コースの教育研究目的

声楽コースは、実技個人レッスンにおいて、発声法等歌唱の基礎を修得し、これを発展させるコースです。古典から近現代にいたる声楽曲の、それぞれの様式に沿った歌唱法、また歌詞の理解と正確な発音に必要な語学力を修得し、独唱のみならず重唱・合唱・オペラ等の授業を通してアンサンブル能力の向上を図ります。さらに、公開試験やさまざまな形態の演奏会等、学修の成果を発表する機会を多く設けて、実践的な経験を積ませることで、豊かな表現力を身につけさせ、声楽家、合唱団員、指導者として文化芸術活動に貢献できる人材の育成を目的とします。

コースの特徴

POINT
1

“声”の持つ可能性を拡げ、
プロの声楽家や指導者に育っていく

私たちの顔が一人ひとり違うように、声帯も声の質も一人ひとり異なります。この声の特性を見つけて大事に育てていくことが、声楽を指導するうえではとても大切です。また、声楽を学ぶには言葉と音楽の関係を理解することが欠かせないため、ドイツ語、イタリア語、フランス語のディクショントラなど、声楽家のための語学の授業も充実させています。担当教員と学生とは厚い信頼関係で結ばれ、きめ細やかなレッスンを通じ、学生の持つ可能性が大きく花開くよう指導をしています。

POINT
2

さまざまな演奏体験を通じて得られる力

学内外のホールでは、ソロをはじめ重唱や合唱などの演奏会が数多く行われ、声楽の楽しさ、難しさを経験するとともに、日々学生同士で音楽の理解を深め合っています。総合芸術と言われるオペラの学修においては国内外から一流の演出家を招き、試演会やオペラ公演も開催されています。さらに、本学管弦楽団や著名なプロのオーケストラと共演する機会があり、実践的な経験に導かれた豊かな表現力を持つ、真に芸術文化の発展に貢献できる人材が育成されています。

FOCUS



オペラ

マイクを使わずに舞台上で歌うのがオペラ歌手です。オペラ歌手として舞台上に立つための本当の基礎を、指揮者、演出家、声楽家のそれぞれの立場から、多角的、総合的に教えます。スコアの読み方や演奏の実習はいうまでもありません。更に、人間の肉体という楽器の基本的な使い方となる立ち方、歩き方。日本とは違うヨーロッパの台本の読み方。三千年の歴史を数える舞台表現、音楽表現の基礎を学んでもらいます。対象となるのはオーディションで選抜された学生のみです。



佐藤 正浩 特任教授

PROFILE: サンフランシスコ歌劇場、リヨン国立歌劇場、パリ・シャトレ劇場でコレベティール・副指揮としてキャリアを始める。イギリスで「イドメネオ」を指揮しデビュー。日本では新国立劇場、日生劇場、二期会、藤原歌劇団等で指揮。新国立劇場オペラ研修所長。



岩田 達宗 特任教授

PROFILE: オペラ演出家。五島記念文化賞オペラ新人賞、音楽クリティック・クラブ賞を受賞。演出した作品は芸術祭大賞、三菱UFJ音楽賞、佐川吉男賞など受賞。ひろしまオペラ・フェスティバル芸術監督、東京文化会館運営委員、大阪音楽大学客員教授。

NEW

PICK UP

ミュージカル

2025年度より、従来から設けられている自由科目の「ミュージカル入門」の発展クラスとして、「ミュージカルⅠ～Ⅳ」が開講されました。この授業は、声楽コースの大学3、4年生であれば、希望者は誰でも履修することが可能です。ミュージカル界で、俳優、歌手、演出家として活躍を続けている講師陣の指導のもと、あらゆるジャンルの曲を歌えるようになることはもちろん、さまざまな種類のダンスも習得し、仲間とコミュニケーションをとりながらミュージカル作品を作り上げていく過程を学ぶことは、将来ミュージカルの世界で輝きたいという学生はもちろん、舞台でのスキルを学ぶことであらゆる分野で活躍できる人材を育てていきます。





音楽総合学科

THE DEPARTMENT OF MUSIC STUDIES

作曲コース p.29

音楽学コース p.31

音楽教育コース p.33

アートマネジメントコース p.35

音楽総合学科の理念と特色

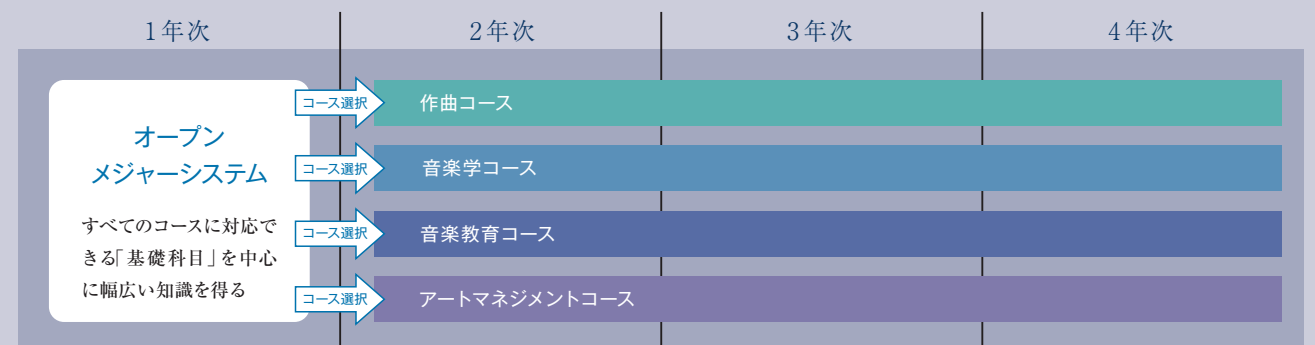
音楽大学における新しい学びのかたちの提案

音楽総合学科は、作曲・音楽学・音楽教育・アートマネジメントの4つのコースで構成されています。知識や情報のグローバル化や、ネットワーク社会が身近になる中で、音楽を専門的に学ぶ学生もこうした社会の変化に合わせて視野を広く持ち、多様な能力を身につけていく必要があります。本学科では、従来から着実な成果を上げている伝統的な音楽に根差した基礎教育と、現代社会において発達が著しいテクノロジーを組み合わせ、新しい発想で教育に取り組みます。幅広い知識を獲得し、実社会で活かせる力を身につけるため、自分の専門とするコースの科目だけではなく、他のコースの多彩な科目も履修可能です。

2 種類の履修システム

1. オープンメジャーシステム

1年次における横断的な総合的な学修によって、より幅広い視野を獲得するとともに、それまで気づかなかった自身の可能性を発見できるかもしれません。オープンメジャーシステムでの幅広い学びによって得られる知識・技能・経験は、現代社会における音楽関連のフィールドで大いに活かされるものです。学修にあたっては、経験豊富な教員アドバイザーの適切なサポートのもとで「基礎科目」を4科目以上履修し、資質や能力、意欲を考慮して2年次からのコースを決定します。なお、1年次に「フィックスメジャーシステム」を選択した場合と同等の学修効果を得るために、2年次で選択するコースにおいて追加のカリキュラムが用意されています。



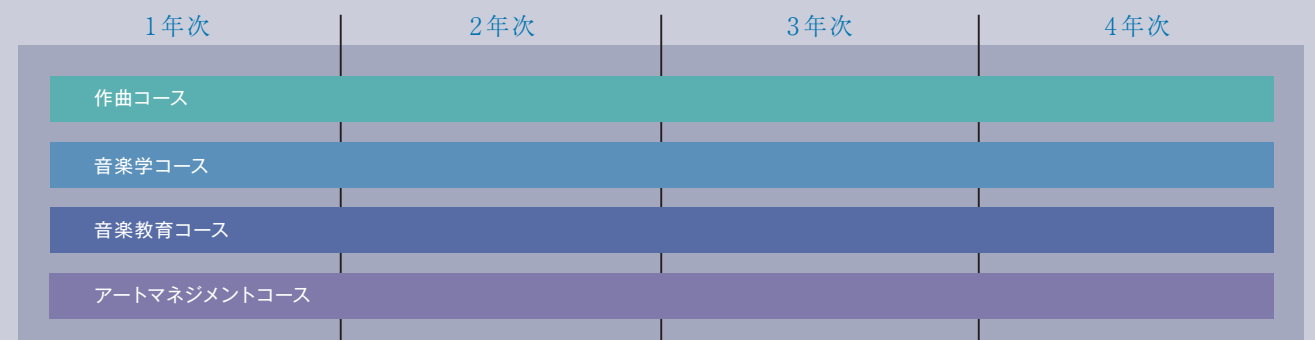
オープンメジャーシステム 1年次の履修授業科目

必修科目 ▶ 基礎科目	ポピュラー・カルチャー論 デジタルメディア進化論 ビジネスマナーと コミュニケーション能力 音楽アナリゼ（基礎） 音楽アナリゼ（発展） 楽譜作成ソフトウェア講座	選択科目 音楽基礎理論 記譜法 混声合唱または 女声合唱 ソルフェージュ 和声 日本音楽概論	2年次の追加履修授業科目（必修）
音楽の世界史 音楽心理学（基礎） 現代社会と音楽 現代と音楽ビジネス 音楽指導実践（基礎）	ピアノ オルガン 管楽器 打楽器 弦楽器 声楽		
必修科目 ▶ 専門科目			
西洋音楽史 音楽実技（ピアノ・オルガン・管楽器・打楽器・弦楽器・声楽）			

※上記科目とあわせて15～16ページ掲載の科目を履修します。

2. フィックスメジャーシステム

入学時から専門的な学修に取り組みたいという場合には、1年次からコースを決めて学修することができます。



※各コースの専門科目（必修科目・選択科目）は29～36ページをご覧ください。

作曲コース

自分のちからで音楽を創り、
人に感動を届ける



PROFESSOR'S MESSAGE

一人ひとりの適性に合わせた指導で、 理想の音を作る

野崎 勇喜夫 作曲コース長・教授

作曲コースでは、学生一人ひとりの適性に合わせ、何を勉強していく必要があるのか教員が見定めながら指導内容を考えていきます。作曲の基礎や技術の修得、吹奏楽やオーケストラなどによる作編曲の技術や音楽制作のノウハウを学びます。主体的な学びは必ず自分の将来につながります。積極的に音楽と関わり、学ぶ習慣を身につければ学生生活は有意義なものとなり、卒業後の進路や進むべき方向性も、おのずと決まってくるはずです。

PROFILE: 武蔵野音楽大学大学院修士課程作曲専攻修了。在外研究員として渡仏。エコールノルマル、IRCAM等で研鑽を積む。第1回国際音楽コンクール第3位、第9回名古屋文化振興賞入選。作品《カヌシャーマ・トゥッパラマ》(室内オケ)など。編曲出版、音源制作、レコーディング参加など多数。

作曲コースの教育研究目的

作曲コースは、伝統的な作曲技法を基礎としながら、さまざまなジャンルにも対応できるマルチコンポーザーとしての能力を修得させるコースです。芸術音楽・商業音楽の創作を学ぶための授業を取り入れ、オーケストレーション等でアコースティック音楽の専門的な知識や技術を修得し、DAW等でデジタル音楽の制作方法や商業音楽への適応力を身につけます。同時に、作曲法のレッスンにより各々の方向性に合わせた指導を受け、作品演奏の機会においては現場での対応能力を学び、専門性と総合力を養います。これらにより、作・編曲はもとより、音楽の分析的研究、吹奏楽等の指導、専門性を活かした企画・制作においても文化芸術活動に貢献できる人材の育成を目的とします。

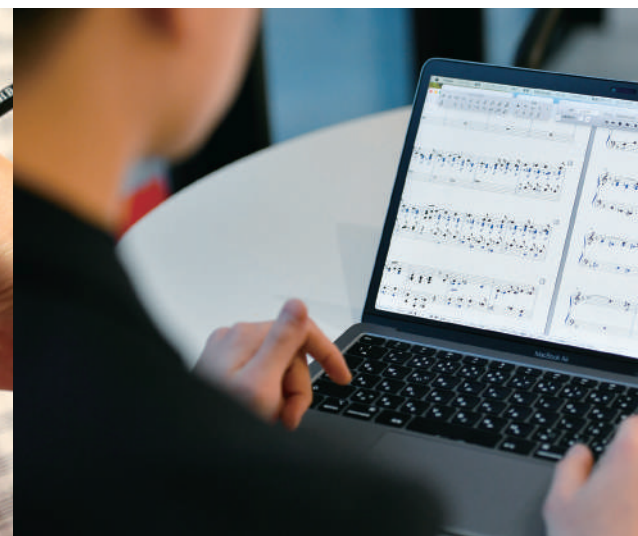
コースの特徴

POINT 1 伝統音楽だけでなく 多様なジャンルに対応できる音楽家

クラシック・吹奏楽・合唱・Jポップ・映画音楽・ゲーム音楽・DTM…。いまや音楽の裾野は際限のない広がりを見せ、多様性は日々増えています。そうした現代の潮流に対応できる音楽家を育てることが、作曲コースのねらいです。そのような中で、音楽を創造するためには「伝統音楽から学ぶ作曲技法」と「DAWを中心としたコンピュータやレコーディングのノウハウ」の修得が必須となります。本学では「アコースティック」と「エレクトリック」の双方向から学生の音楽表現の可能性を上げていきます。

POINT 2 これからの作曲家 — キーワードは「マルチ・コンポーザー」

作曲コースでは、伝統的なクラシックの作曲法を学ぶとともに、多様化する現代のニーズに合わせたポピュラーやジャズの作曲法、コンピュータを用いたDAWの音楽制作などを学ぶことができます。学生たちは「芸術音楽」と「商業音楽」の両方に対応できる「マルチ・コンポーザー」を目標に研鑽を積み、作曲した作品は、学内外において多くの発表の機会が設けられます。自作曲演奏の機会を通じた演奏家との関わり方や、最新鋭の楽譜制作ソフトの使用法、録音、編集作業なども学べます。



FOCUS



DAW

「DAW」とはDigital Audio Workstationの略で、コンピュータなどを使った音楽制作を意味します。授業ではProToolsやLogic ProをメインDAWソフトウェアとし、基本操作を学びながら編曲や作曲、映像への音楽や効果音付けの実習を行います。素材は環境音から電子音まで幅広く扱い、映像や視覚効果への理解を深めるべく、デザインや動画も可能な限り自作します。DTM室と録音スタジオを活用しながら、ソフトウェアや機器に捉われない柔軟な発想と感性を活かした個性溢れる作品制作を目指します。

専門科目

必修科目

作曲法(基礎)
作曲法(応用)
創作応用研究
オーケストレーション
DAW(基礎)
DAW(応用)

作品演奏
卒業作品
ピアノ
ソルフェージュ
西洋音楽史

選択科目

音楽基礎理論	管楽器	ソルフェージュ
記譜法	打楽器	西洋音楽史
映像音楽概論	弦楽器	音楽美学
楽曲アナリゼ	声楽	日本音楽概論
ピアノ	声楽(教職)	諸民族音楽概論
オルガン	混声合唱または女声合唱	

※上記科目とあわせて15～16ページ掲載の科目を履修します。

卒業後の 進路例

・大学院進学	・音楽教室講師	・レコーディングプロデューサー
・音楽評論家	・作曲家	・音楽出版社
・小学校・中学校・高等学校教員	・コマーシャルソング作曲家	・編曲家
・海外留学	・音楽系企業	・大学教員
・映像音楽プロデューサー	・指揮者	・民間企業

音楽学コース

音楽の感動は音楽の知によって深まり、
確かなものとなる



PROFESSOR'S MESSAGE

楽譜からの声に耳を傾け 作品や伝承資料と対話する

市川 克明 音楽学コース長・教授

私たちが普段聴いたり、演奏する音楽、それはどのように産み出され、伝えられてきたのでしょうか？音楽は私たちを和ませ幸せな気持ちにしてくれますし、時として強いメッセージを発することもあります。今に伝わる多くの音楽家たちからの魂の声を、楽譜やさまざまな資料から聴き取り、読み取り、理解し、より深く知ること、学問としての音楽を学びより深く作品と対話し探求していく、そのような音楽学への扉を開いてみませんか？そこで培われた、読譜力、読解力、分析力、そして論理的に考察すること、書くこと、話すことは、人生を豊かにするだけではなく音楽やそれを取り巻くさまざまな職業にも応用できる基礎的能力となることでしょう。

PROFILE: 武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了、ホルンを田中正大、山本真、ハインリヒ・ケラーの各氏に師事。ドイツ・ハレ大学で音楽学博士号を取得。在独中、日独親善交流演奏会などを企画、2011年、日独修好150周年記念友好賞を受賞。日本音楽芸術学会理事、日本音楽学会、国際ヘンデル学会会員。

音楽学コースの教育研究目的

音楽学コースは、音楽史、音楽美学、民族音楽学、音楽理論等を学ぶことにより、世界各地の多様な音楽を研究するための基礎を修得させるコースです。音楽学研究で、各研究分野における基礎的・専門的内容を学ぶとともに、音楽の実技や理論、古今東西の演奏実技等の実習を通して、自分に関心を持つテーマを掘り下げ、総合演習では、論文作成や口頭発表の手法を身につけ、それらの集大成として卒業論文を作成します。これら音楽の専門的な知見を生かし、音楽の研究者のみならず音楽評論家、ジャーナリスト、音楽編集・企画者、ライブラリアンとして音楽に関わる社会のさまざまな場で文化芸術活動に貢献できる人材の育成を目的とします。

コースの特徴

POINT 1 整った環境で音楽を実践とともに 多面的に研究

音楽学コースでは、さまざまな音楽について、音楽を組織付けている理論はもちろん、歴史や思想、文化、社会との関わりなどを多面的に学びます。各分野の研究者による専門的な指導のもとで、今まで知らなかった音楽の見方や考え方や出会い、音楽の芸術的な素晴らしさや社会・文化における意味や役割を探求します。また、図書館や楽器ミュージアムなどの充実した研究施設の活用や、音楽大学の特色を活かした音楽実技履修により、実践に裏付けられた学びが可能です。

POINT 2 音楽への知的探究心をバックアップ

「音楽学概論」で音楽学の基礎を学び、2～4年次の「音楽学研究」でさまざまな研究分野の考え方や研究の現状を学んで視野を拡げ、4年次では自らが設定したテーマで卒業論文作成に取り組めます。例年、卒業論文のテーマは多岐にわたりますが、論文の作成を通して、「調べる力」「考える力」「発信する力」が培われます。そうした力をつけた本コースの卒業生は、音楽の研究はもちろん、教育や評論、出版、舞台制作、図書館など、さまざまな分野で活躍しています。



FOCUS



音楽学概論

「音楽学概論」は、音楽学コース1年生が最初に受講する音楽学専門の授業です。音楽学とは何を明らかにする学問なのか、また、それらの問題を明らかにするにはどのような方法論があるのかを、幅広く学びます。作曲家、作品、様式、音楽理論、資料研究、楽曲分析、音楽美学、音楽社会学、演奏研究、日本音楽史、民族音楽学、サウンドスケープ、ニューミュージコロジーなど、自分の興味関心や問題意識と向き合いながら、音楽学という学問分野の幅広さを学ぶことを目的としています。

専門科目

必修科目

音楽学概論
音楽学研究
楽書講読
特別演習
日本音楽史
音楽ジャーナリズム論
総合演習
卒業論文
ピアノ
ソルフェージュ
和声
西洋音楽史

選択科目

音楽美学	打楽器	和声
諸民族音楽概論	弦楽器	対位法
ピアノ	声楽	楽式
オルガン	声楽（教職）	楽器学
管楽器	混声合唱または女声合唱	西洋音楽史

※上記科目とあわせて15～16ページ掲載の科目を履修します。

卒業後の 進路例

・大学院進学	・大学教員	・音楽関係機関・団体
・海外留学	・小学校・中学校・高等学校教員	・音楽系企業
・音楽研究者	・音楽教室講師	・音楽ホールの企画・運営
・音楽評論家	・カルチャースクール講師	・演奏家
・図書館員	・音楽出版・マスコミ関係	・民間企業

音楽教育コース

音楽の魅力を伝え、
教えることで感動を分かち合う



PROFESSOR'S MESSAGE

指導者の指導性と学習者の 主体性が調和する学習活動を実践

加藤 徹也 音楽総合学科長 音楽教育コース長・教授

音楽教育コースには「音楽の魅力をより多くの人たちに伝え、音楽の指導に携わりたい」という思いや志を持った学生が集まっています。音楽の楽しみ方にさまざまな形があるように、音楽の学びや指導の場面も多様であり、それぞれの特徴や利点を知ること大切なことと言えるでしょう。私は、指導者が指導性を発揮する場面と学習者が主体性を発揮する場面が調和したところに、充実した学習活動が成り立つと考え、日々心がけています。

PROFILE: 東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。放送大学大学院文化科学研究科修了。東京都立高校教員、文部科学省主任教科書調査官を経て、2015年武蔵野音楽大学教授、2022年より音楽総合学科長。時代やジャンルを超えた音楽の授業づくりを推進している。趣味は旅行。



FOCUS



音楽指導者論

音楽指導者論は音楽教育コースならではの科目です。主に音楽科教員としての資質・能力に焦点をあて、大学在学時代から身につけることが可能な知識や技能に関して演習及び講義を通して学修しています。授業を構成するための方法をはじめ、歌唱指導の創意工夫の段階での指導方法、音や音楽の実感に根ざした音楽鑑賞の指導方法、ギター奏法の基本等を習得します。授業では学生の演習、学生同士の討議を多く取り入れ、活発な意見交換を通して学力を身につけていきます。

音楽教育コースの教育研究目的

音楽教育コースは、音楽教育学概論をはじめとする音楽教育に関する科目の学修を通して、音楽の指導者として必要となる資質や能力を修得させるコースです。教育活動の基盤となる演奏技術を高めるための実技レッスンや、音楽教育に関する基礎理論の学修と、演習を通して実践的な能力を身につけ、それらの集大成として卒業論文を作成します。音楽教育に関する研究者や学校の教員、音楽教室や音楽関連団体の指導者として文化芸術活動に貢献できる人材の育成を目的とします。

コースの特徴

POINT 1 高い専門性と豊かな人間性を備えた指導者を育成

次世代の音楽指導者を育成するための音楽教育コースでは、高い専門性と豊かな人間性を兼ね備えた人材の育成を目指しています。子どもたちの情操教育からシニアの趣味まで、幅広い世代の人々に音楽の魅力を伝えることは、いまや欠かせない社会貢献です。楽器演奏や歌唱のノウハウを教え、ともに演奏を行い、感動を分かち合う。それは音楽を通して心を通わせるコミュニケーションの世界です。本コースで確かな技能と指導能力を学び、心と技術を備えた魅力あふれる音楽の伝道者を目指しましょう。

POINT 2 学校教育現場で必要な実践的指導力を身につける

音楽教育コースでは学校の教員をはじめ、音楽教室や音楽団体など多様な場面で音楽の指導を通じて活躍する人材を育成しています。そこには幅広い知識や演奏技能、指導力はもちろん、何よりも教育に対する使命感や情熱、高潔な人間性が求められます。本コースでは多様なニーズに対応し、指導者としての資質を十分に備えることができるよう、各種楽器演奏や声楽の基礎技術を中心に、西洋音楽史や音楽教育史など、専門知識を学ぶための豊富なカリキュラムが編成されています。

専門科目

必修科目

音楽教育学概論
音楽教育史
音楽教育学研究
音楽指導実践研究
音楽指導者論
卒業論文演習
卒業論文
基礎実技
(ピアノ・オルガン・管楽器・打楽器・弦楽器・声楽)

ピアノ
ソルフェージュ
和声
西洋音楽史

選択科目

音楽心理学研究	声楽(教職)	対位法
生涯教育・社会福祉と音楽	管弦楽	楽式
アンサンブル指導法	管・打楽器合奏	楽器学
ピアノ	管楽合奏	西洋音楽史
オルガン	打楽器合奏	音楽美学
管楽器	弦楽合奏	日本音楽概論
打楽器	混声合唱または女声合唱	諸民族音楽概論
弦楽器	ソルフェージュ	
声楽	和声	

※上記科目とあわせて15～16ページ掲載の科目を履修します。

卒業後の 進路例

- | | | |
|-----------------|--------|--------|
| ・小学校・中学校・高等学校教員 | ・大学院進学 | ・大学教員 |
| ・音楽教室講師 | ・音楽出版社 | ・音楽系企業 |
| ・福祉関係施設職員 | ・民間企業 | ・海外留学 |

アートマネジメント コース

Arts Management —

それは、感動の輪を広げる仕事

芸術を社会に広め、花を咲かせる



PROFESSOR'S MESSAGE

理論と実践を学び、 音楽とともに生きる

上村 英郷 アートマネジメントコース長・教授

アートマネジメントコースでは、芸術や文化を愛する皆さんを力強くサポートしていきます。カリキュラムは、理論と実践がバランスよく組み合わせられ、新しいテクノロジーによるDTM制作、広報資料制作など幅広く学修できます。芸術文化の将来のため、聴衆との関わりを考え、新しいテクノロジーについて前向きな関心を抱き、音楽の変化する環境において、芸術的にも組織的にもリーダーシップをとっていただけることを願っています。

PROFILE: 武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科卒業。スイス（チューリヒ）インターナショナルマスターコース修了。武蔵野音楽大学大学院 音楽研究科修了（芸術学）。アメリカ州立ノーザンコロラド大学 客員研究員。国立大学法人政策研究大学院大学 文化政策プログラム修了（公共政策）。

アートマネジメントコースの教育研究目的

アートマネジメントコースは、音楽芸術の力によって心豊かな活力ある社会を形成していくための、芸術的感性とマネジメント能力を修得させるコースです。音楽に関する専門的知識と音楽実技の基礎に加え、舞台技術を含む劇場・ホール等に関する事項、演劇・舞踊等の舞台芸術、美術、文化政策や芸術関係の法制、財務のほか、コンピュータによる音楽制作、グラフィックデザイン、文書作成等について学修します。また、学内外における各種の実習を通して現場体験を積み、高い芸術的感性と優れたマネジメント能力を養い、音楽をはじめとする各種舞台芸術や音楽文化産業を牽引し、文化芸術活動に貢献できる人材の育成を目的とします。

コースの特徴

POINT
1

芸術文化活動を力強く支える 人材の育成

華やかな音楽のステージは、アーティストと各分野の専門スタッフ、そして彼らをリードするアートマネジャーとの共同作業によって創造されています。アートマネジメントコースは、芸術的感性とマネジメント能力を備え、舞台芸術の現場で活躍するアートマネジャーの育成を目指しています。アーティストの魅力を引き出し、舞台にまばゆいきらめきを与え、ビジネスとしてもマネジメントできる能力を備えたアートマネジャーは、音楽文化の創造者として時代に求められる存在です。

POINT
2

実践本位のカリキュラムと 充実した学修環境

アートマネジメントコースでは、主としてコンサートやオペラなど各種公演の企画・制作・宣伝や、劇場・ホールなどの施設管理・運営について学びます。芸術文化の第一線で活躍する専門家が講師を務め、学内外で行われる数多くの公演の現場において実習経験を積んでいきます。また、音楽史・音楽理論・音楽実技などの専門科目やコンピュータ音楽、録音技術などの基礎を学ぶとともに、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力などを養い、ビジネスマナーも身につけます。



FOCUS



アートマネジメント実習

2年次に本学主催の演奏会においてスタッフの一員として、学内施設（プラームスホール等）および学外施設（東京芸術劇場等）での演奏会運営の現場を体験し、3年次にはインターンシップとして、文化施設（劇場・ホール等）、芸術団体（演奏団体等）、芸術関係企業（音楽事務所等）、アートNPO等のプロフェッショナルな現場で実務を経験します。舞台芸術に関する実態を理解するとともに、専門知識とスキルを実践的に学ぶ場となっています。

専門科目

必修科目

アートマネジメント研究（基礎）	コンピュータ音楽実習
アートマネジメント研究（応用）	企画制作演習
舞台技術概論	卒業論文
劇場音響概論	音楽実技
広報宣伝資料制作	（ピアノ・オルガン・管楽器 ・打楽器・弦楽器・声楽）
アートマネジメント実習	西洋音楽史
芸術文化政策論	

選択科目

映像音楽概論	声楽	対位法
演劇論・演出論	声楽（教職）	楽式
舞踊概論	混声合唱または女声合唱	楽器学
ピアノ	ソルフェージュ	音楽美学
オルガン	西洋音楽史	
管楽器	日本音楽概論	
打楽器	諸民族音楽概論	
弦楽器	和声	

※上記科目とあわせて15～16ページ掲載の科目を履修します。

卒業後の 進路例

・音楽ホールの企画・運営・管理	・芸術団体の制作スタッフ	・大学院進学
・テーマパークの企画・運営	・学芸員等文化施設の専門スタッフ	・民間企業
・音楽系企業	・音響・照明などの舞台技術スタッフ	
・音楽イベントプロデューサー	・マスコミ関係	

客員・特別招聘教授メッセージ

GUEST PROFESSORS' MESSAGE



私の音楽人生と心に刻まれた、学生の誠意と情熱

Ray E. Cramer

レイ・E. クレーマー（ウィンドアンサンブル指揮）
インディアナ大学名誉教授／武蔵野音楽大学名誉教授

1990年に始まった武蔵野音楽大学との関係は、既に約30年が経過しています。そして、現在でも学生たちと音楽的な体験を共有することができていることを心から嬉しく思います。武蔵野のオーケストラやウィンドアンサンブルは国内だけでなく、海外でも高い水準の演奏を行っており、プロの演奏家を目指している皆さんは、武蔵野音楽大学の奥深い音楽を存分に経験するべきと思っています。

Profile

インディアナ大学にて吹奏楽学科主任教授およびバンドディレクターとして活躍し、全米吹奏楽指導者協会会長など吹奏楽協会の要職を歴任。「第17回日本管打・吹奏楽アカデミー賞」、「バンド・オブ・アメリカ殿堂」等、数多くの受賞歴を持つ。



様々な音楽に触れ、表現する為の引き出しを豊かに！

Norichika Iimori

飯森 範親（管弦楽団・ウィンドアンサンブル指揮）
武蔵野音楽大学客員教授

武蔵野音楽大学の皆さんとは、これまでに、吹奏楽と管弦楽、それぞれの演奏会を指揮させていただきました。音楽に対する真剣な取り組み、また、私から多くのものを吸収しようというキラキラした眼差し、それらがいつも印象的でした。彼らはリハーサル初日からとてもハイレベルな演奏をし、そして、本番に向けての集中力にはプロにも勝るエネルギーを感じます。この大学で学んだことが、皆さんのこれからの音楽家人生において少しでもプラスになることを願っています。

Profile

パンフィックフィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー響首席指揮者、群馬響常任指揮者、山形響桂冠指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウィンドオーケストラ、中部フィル首席客演指揮者。また、オペラでも高い評価を得ている。



©山岸 伸



超満員の聴衆とのエキサイティングな時間

Kemal Gekici

ケマル・ゲキチ（ピアノ）
フロリダ国際大学教授／武蔵野音楽大学名誉教授

客員教授として武蔵野音楽大学を訪れ、学生たちや先生へのレッスン、ソロリサイタルを行うたび、学内にあふれるプロフェッショナルで協調性のある雰囲気を感じます。毎年、皆さんと共有する時間をエンジョイしていますが、2015年に行った武蔵野のウィンドアンサンブルと、2017年「新キャンパス竣工記念特別演奏会」での福井直昭学長との共演は特にエキサイティングでした。

Profile

1982年ユーゴスラヴィアのノヴィサッド音楽院で、史上最高得点でのディプロマを取得、1985年ショパン国際ピアノ・コンクールでの演奏はショパン・ソサエティより最優秀ソナタ特別賞を授与。世界中から熱狂的な支持を受け続けている。



芸術作品を理解するために自らの見聞を広める

Tamasaburo Bando

坂東 玉三郎（歌舞伎役者）
武蔵野音楽大学特別招聘教授

素晴らしい音楽家や彫刻家、画家などは、宇宙からの波のさなかに生まれた人だと思っています。そして、彼らが心のままに、或いは夢中で作ったものは、自然の美によく似ており、また人生の苦しさ、生きていることへの矛盾や疑問から出てきているものだと思います。そういった芸術作品を皆さんが理解するためには、自らの見聞を広めるということに尽きるのではないのでしょうか。

Profile

歌舞伎界を代表する立女形。1964年6月十四代目守田勘弥の養子となり、歌舞伎座「心中刃は氷の朔日」のおたまほかで五代目坂東玉三郎を襲名。歌舞伎の枠を超えて国際的にも活躍。重要無形文化財保持者（人間国宝）他、受賞歴多数。



家族の一員として、学生たちにより良い生き方を

Ilya Itin

イリヤ・イーティン（ピアノ）
武蔵野音楽大学客員教授（2026年度着任予定）

武蔵野音楽大学という“家族”の一員になれたことは、私にとって大変幸せなことです。キャンパスを包む「和」の雰囲気は、ここでの指導を特別なものにしてくれます。私たちの役目は、すべての学生たちの生き方をより良いものへ変えていくことであり、音楽は私たちすべてをつなげるものです。皆さん全員がお互いに影響を与え合い、高め合っていくことを望んでいます。

Profile

モスクワ音楽院を最優秀で卒業。レフ・ナウモフ氏に師事。リーズ国際ピアノコンクール第1位、ラフマニノフ国際コンクール第2位など受賞歴多数。著名オーケストラ、指揮者との共演多数。世界中で演奏活動を行う他、コンクールの審査員も多数務める。



価値や能力を高め、達成感を得られるレッスンを

Christian-Friedrich Dallmann

クリスティアン＝フリードリヒ・ダルマン（ホルン）
ベルリン芸術大学教授／武蔵野音楽大学客員教授

40年にわたり世界中で教えてきた私にとっても、武蔵野音楽大学で教えることは常に特別なことです。ここではすべてを広く受け入れ、好奇心旺盛で、集中力ある学生たちに出会うことができます。特に学生たちの持つ価値や能力を高め、それぞれが達成感を得られるようレッスンしています。私たちを繋げてくれる素晴らしい音楽の世界に、若い人たちの目・耳・心を開かせることは、私の人生にとって最も重要な仕事のひとつです。これからも喜んでここでの教育に身を捧げるつもりです。

Profile

ハンス・アイスラー音大で研鑽を積み、1978年にマルクノイキルヒェン国際音楽コンクールホルン部門で第1位受賞。ベルリン交響楽団（現ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団）の首席奏者を経て、現在ベルリン芸大教授として教鞭をとっている。



講師紹介

ピアノ



福井 直昭 教授(ヴィルトゥオーゾコース長)



重松 聡 教授



高坂 朋聖 教授



田代 慎之介 教授(器楽コース長)



小池 ちとせ 教授



永岡 信幸 教授



村上 直行 准教授



春原 恵子 講師



石丸 由佳 講師

管楽器



佛坂 咲千生 教授(トランペット)



高久 進 教授(フルート)



栃尾 克樹 教授(サクソフォーン)

管楽器



丸山 勉 教授(ホルン)



山本 正治 特任教授(クラリネット)



井上 順平 特任教授(トロンボーン)



吉岡 アカリ 准教授(フルート)



三倉 麻実 准教授(クラリネット)



須山 芳博 特任准教授(ホルン)

オルガン



宮下 英士 講師(フルート)



北村 貴子 講師(オーボエ)



岡崎 耕二 講師(トランペット)

打楽器



大房 美穂 講師(ユーフォニウム)



佐藤 潔 講師(テューバ)



中谷 孝哉 教授

講師紹介

打楽器



吉原 すみれ 特任教授



安藤 芳広 准教授



小川 佳津子 講師

弦楽器



黒田 英実 講師



深山 尚久 教授(ヴァイオリン)



水野 佐知香 特任教授(ヴァイオリン)



黄原 亮司 特任教授(チェロ)



井上 久美子 特任教授(ハープ)



崔 文洙 客員教授(ヴァイオリン)



丸山 由里子 准教授(ヴァイオリン)



恵谷 真紀子 講師(ヴィオラ)



高山 智仁 講師(コントラバス)

声楽



佐藤 美枝子 教授(声楽コース長)



小畑 朱実 教授



佐橋 美起 教授



堀内 康雄 教授



山口 道子 教授



菊池 英美 特任教授



松本 美和子 特任教授



立野 至美 准教授



谷 友博 准教授

指揮・指揮法



北原 幸男 教授



飯森 範親 客員教授



前田 淳 准教授

講師紹介

指揮・指揮法



片山 みゆき 講師



和田 一樹 講師

作曲



野崎 勇喜夫 教授(作曲コース長)

音楽教育



山崎 正彦 准教授



大場 ゆかり 講師



平田 亜矢 講師



佐藤 誠一 准教授



佐山 紀彦 講師

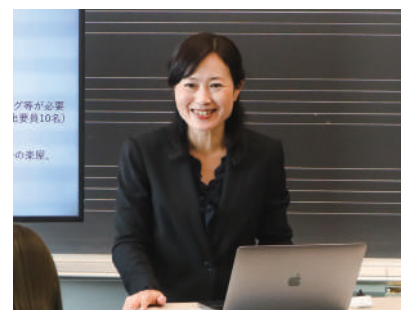


成宮 北斗 講師

アートマネジメント



上村 英郷 教授(アートマネジメントコース長)



赤木 舞 准教授



脇谷 真弓 講師

音楽学



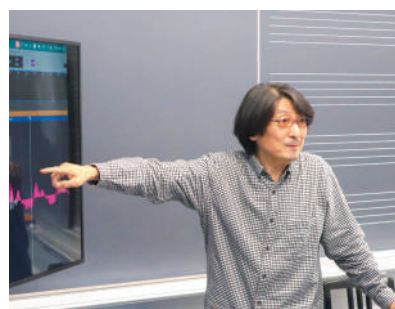
市川 克明 教授(音楽学コース長)



稲田 隆之 教授



野原 泰子 講師

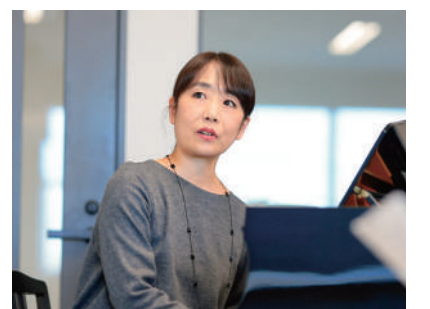


欠田 芳憲 講師



安田 寿之 講師

ソルフェージュ



高谷 典子 教授



宮崎 晴代 講師



米田 かおり 講師

音楽教育



加藤 徹也 教授(音楽教育コース長)

外国語



中田 淳子 教授(英語)



ヨズア・バルチュ 准教授(ドイツ語)

その他の講師陣につきましては、
下記のQRコードよりご参照ください。



教育職員一覽

2025年4月1日現在（五十音順）

法人役員

理事長……………福井 直敬
理事……………石丸 雍二
古池 好
野村 邦武
福井 直昭
監 事……………小林 央
濱田 芳貴

大学役職員

学 長……………福井 直昭
総務部長……………重松 聡
管理部長……………末吉 孝司
経理部長……………本庄 忍
図書館長……………重松 聡
楽器ミュージアム館長
……………福井 直昭
学務部長……………高坂 朋聖
演奏部長……………佛坂 咲千生

学科長・コース長

演奏学科長……………田代 慎之介
器楽コース長……………田代 慎之介
声楽コース長……………佐藤 美枝子
ヴィルトゥオーゾコース長
……………福井 直昭
音楽総合学科長…加藤 徹也
作曲コース長……………野崎 勇喜夫
音楽学コース長……市川 克明
音楽教育コース長…加藤 徹也
アートマネジメントコース長
……………上村 英郷

特別招聘教授

坂東 玉三郎

名誉教授

ケマル・ゲキチ（ピアノ）

ピアノ

教 授 小池 ちとせ
高坂 朋聖
重松 聡
田代 慎之介
永岡 信幸
福井 直昭
特任教授 渡邊 規久雄
准 教 授 村上 直行
講 師 新井 和子
今川 映美子
岩倉 孔介
岩津 勢伊子
ウララ・ササキ
遠藤 裕子
大澤 恵子
大坪 由里
大野 瑞穂
岡 珠世
可児 亜理
金子 淳
岸 美奈子
橘高 昌男
栗原 千種
桑原 淑子
コッホ 中村 幸子
近藤 真豊子
堺 康馬
清水 弘治
菅野 雅紀
寺井 ミカ
富山 紀美子
永田 順子
野上 剛
羽田野 英子
春原 恵子
福井 敬介
藤井 隆史
古市 明里
堀内 亮
前原 信子
水野 ゆみ
三宅 啓子
森永 美穂子
山城 浩一
山田 彰一
渡辺 愛菜

ピアノコラボレイティヴアーツ

教 授 小池 ちとせ
特任教授 佐藤 正浩
准 教 授 子安 ゆかり
講 師 清水 綾
横山 修司

オルガン

講 師 石丸 由佳

チェンバロ

講 師 西山 まりえ

フルート

教 授 高久 進
准 教 授 吉岡 アカリ
講 師 一戸 敦
井出 朋子
岩下 智子
佐野 悦郎
高木 綾子
戸田 敦
宮下 英士
柳原 佑介

オーボエ

准 教 授 青山 聖樹
講 師 伊藤 量子
金子 亜未
北村 貴子

クラリネット

特任教授 山本 正治
准 教 授 三倉 麻実
講 師 加藤 明久
澤村 康恵
中館 壮志
十亀 正司
林 直樹

サクソフォーン

教 授 栃尾 克樹
講 師 都築 惇
林田 祐和

ファゴット

講 師 山田 知史
吉田 將

ホルン

教 授 丸山 勉
特任准教授 須山 芳博
講 師 飯笹 浩二
石山 直城
今井 仁志
西條 貴人

トランペット

教 授 佛坂 咲千生
講 師 井上 雄二
岡崎 耕二
川田 修一
久保 義一
田島 勤
橋本 洋
林 辰則
松木 亜希

トロンボーン

特任教授 井上 順平
講 師 井口 有里
石原 左近
風早 宏隆
栗田 晃

ユーフォニアム

講 師 岩黒 綾乃
大房 美穂

チューバ

講 師 大塚 哲也
佐藤 潔

打楽器

教 授 中谷 孝哉
特任教授 吉原 すみれ
准 教 授 安藤 芳広
講 師 岡田 全弘
小川 佳津子
久保 昌一
黒田 英実
高橋 治子

ヴァイオリン

教 授 深山 尚久
特任教授 水野 佐知香
客員教授 崔 文洙
准 教 授 丸山 由里子
講 師 飯島 多恵
木野 雅之
佐藤 まどか
柴 香苗
鈴木 郁夫
東海 千浪
戸澤 哲夫
増田 加寿子
安富 洋
山中 光
吉村 知子

ヴィオラ

講 師 恵谷 真紀子
渡邊 信一郎

チェロ

特任教授 黄原 亮司
講 師 花崎 薫
三宅 進
山崎 みのり

コントラバス

講 師 高山 智仁
米長 幸一

ハーブ

特任教授 井上 久美子

指揮・指揮法

教 授 北原 幸男
客員教授 飯森 範親
藤井 宏樹
准 教 授 小田 実結子
講 師 柿沼 唯
木村 真人
佐山 紀彦
侘美 秀俊
立原 勇
成宮 北斗
二宮 玲子
波立 裕矢

声楽

教 授 小畑 朱実
佐藤 美枝子
佐橋 美起
堀内 康雄
山口 道子
特任教授 菊池 英美
松本 美和子
准 教 授 立野 至美
講 師 谷 友博
青地 英幸
青山 智英子
池田 京子
伊藤 晴
大川 典子
加茂下 稔
岸本 力
黒田 彰
河野 めぐみ
小林 晴美
小堀 勇介
三戸 大久
清水 徹太郎
砂川 涼子
田口 宗明
豊嶋 祐壺
樋口 達哉
松原 友
森永 朝子
山内 みどり

オペラ

教 授 佐藤 美枝子
特任教授 岩田 達宗
佐藤 正浩
講 師 齋藤 誠二
島添 亮子
瀧田 亮子
谷川 瑠美

ミュージカル

教 授 佐橋 美起
講 師 原田 優一

作曲・音楽理論

教 授 野崎 勇喜夫
准 教 授 佐藤 誠一
講 師 大澤 徹訓
小田 実結子
柿沼 唯
木村 真人
佐山 紀彦
侘美 秀俊
立原 勇
成宮 北斗
二宮 玲子
波立 裕矢

音楽学

教 授 市川 克明
稲田 隆之
講 師 石川 かおり
小倉 多美子
黒川 真理恵
白石 悠里子
菅原 修一
高橋 大海
東儀 博昭
東田 範子
長岡 英
野川 美穂子
野原 泰子
萩原 里香
東川 愛
丸山 瑠子
宮崎 晴代
米田 かおり

音楽教育

教 授 加藤 徹也
准 教 授 中里 南子
山崎 正彦
講 師 飯田 勉
岩川 みやび
大槻 秀一
大場 ゆかり
菊本 和仁
小松 康裕
近藤 靖子
齋藤 道子
佐藤 典子
佐藤 恩実
杉野 珠理
鈴木 雅之
常見 昌弘
根岸 由香
長谷川 恭子
林田 壮平
平田 亜矢
前田 賢一
町田 健児
峯村 恒平
宮本 登
山内 雅子

等

講 師 杉浦 聡

アートマネジメント

教 授 上村 英郷
特任教授 中川 俊宏
准 教 授 赤木 舞
講 師 阿部 さとみ
稲田 奈緒美
欠田 芳恵
久保 仁志
熊澤 弘
酒井 美恵
西田 俊郎
松永 路
松宮 辰太郎
守重 信郎
安田 寿之
百合山 真人
脇谷 真弓

ソルフェージュ

教 授 高谷 典子
講 師 伊東 光介
小川 実佐枝
岸 美奈子
齋藤 圭子
嶋田 英里
舘岡 真澄
仲村 亜寿実

教養科目

教 授 上村 英郷
高坂 朋聖
中田 淳子
特任教授 中川 俊宏
准 教 授 中野 有希子
講 師 内野 博子
大場 ゆかり
片山 幹生
金 美京
重信 三和子
立花 史
積田 勝
中江 花菜
武藤 康史
村山 貴子
山澤 成康
山路 譲

外国語科目

教 授 中田 淳子（英語）
准 教 授 中野 有希子（ドイツ語）
原田 知子（英語）
講 師 ヨズア・バルチュ（ドイツ語）
飯島 さや（英語）
京藤 好男（イタリア語）
國府方 麗夏（英語）
塩野 衛子（フランス語）
篠原 洋治（フランス語）
高田 和広（イタリア語）
塚本 美穂（英語）
萩原 里香（イタリア語）
フランチェスカ・ミッショ（イタリア語）

体育科目

講 師 富樫 絵理子
堀池 薫子



詳細はこちらから

授業紹介

CLASS INTRODUCTION

履修対象 | ● 演奏学科 ● 音楽総合学科 ● 自由科目



室内楽・重奏（ピアノ）

● 自由科目

オーディションで選出されたピアノの学生が、教員推薦による弦・管楽器の学生とデュオやトリオ等を組んで、バロックから近現代に至る幅広いレパートリーを学んでいます。お互いが単に寄り添うのではなく、音としてそれぞれが自己主張しながら対話することで、ひとつの音楽を創り上げて行くのが室内楽の醍醐味です。授業を通して将来の音楽活動のための必要不可欠な経験を積むことができるでしょう。



ディクショント（ドイツ語）

● 音楽

ドイツ語の母音や子音の正確な発音だけでなく、単語や文章のアクセント、リズムや抑揚などをマスターし、ドイツ語発音の基本を身につけます。リスニングや発音練習を通し、各レッスンで詩や早口言葉を暗唱したりすることで毎回ひとつのテーマを習得していきます。日常生活で実際に話されている発音と舞台上での発音の違いについても学び、正しい発音法とともに歌詞の意味についての理解を深め、演奏表現力の向上を目指します。



様々な音楽の演奏実践（雅楽）

● 自由科目

雅楽は日本で最も古い歴史と伝統を誇る総合芸術です。この授業では、宮内庁式部職楽部の指導者による解説と実践を通して、正統な雅楽への正しい理解を深めます。前期では、雅楽唱歌と、雅楽楽器の、羯鼓・楽太鼓・鉦鼓・笙・簫・龍笛・楽琵琶・楽箏・和琴・笏拍子の各楽器の奏法と取り扱い方法、身体をフル活用する舞楽を学習します。後期では、前期の各楽器研鑽を充実させて、合奏実践を積み、学園祭にて成果演奏を行います。



弦楽合奏

● 弦楽器

弦楽合奏の授業は1年次でⅠ、Ⅱ、2年次でⅢ、Ⅳが開講されており、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスからなる弦楽五部のアンサンブルです。仲間と呼吸を合わせ、お互いを聴き合い、音を重ねて、繊細で美しい響きの音楽を作り上げていきます。厚みのある音や豊かな響き、軽快なリズム、音のキレなど様々な音楽表現に重要なのは弓の使い方。そこに重点を置いて学びます。これらの実技経験は、より音楽の理解を深め、アンサンブルの基礎を学び演奏家としての幅を広げます。



通奏低音

● 自由科目

バロック時代の伴奏法のひとつである通奏低音の授業です。数字の読み方を学ぶとともに、一人一台キーボードを使い、左手で奏するバスの上に書かれている数字と記号を読み解きながら、即興的に右手をつけていくことを実践的に行います。受講者どうして、旋律楽器や歌のパートを弾く人、通奏低音を弾く人に分かれて実際の楽曲でアンサンブルしてみる時間も多く取ります。鍵盤楽器専攻生は勿論、普段は旋律を奏でる学生たちにとっても伴奏譜の数字を理解することは演奏に大いに役立ちます。



打楽器合奏

● 打楽器

打楽器専攻生のための授業です。例年、前期後期の最後にホールでの学習発表コンサートを行います。レパートリーは多様性を重視して、オリジナルから編曲物、民俗曲、ロック、ポップス、ハンドベル、アンクルン合奏等々。自発的なビート発信ができるように導きます。聴いてくれる人が良いイメージを想起できる、人と人を繋ぐパワーのある音楽を目指します。



室内楽・重奏（金管楽器）

● 自由科目

音楽大学のレッスンでは、個々の技術、音楽性を養い、ソロを演奏する緊張感、難しさを感じるとは思いますが、室内楽のレッスンでは、協調性、息を合わせる、ハーモニー感覚、音楽の方向性を揃えるという難しさを存分に味わって下さい。音楽家にとって重要な事は、耳を鍛え、何にでも反応できるようアンテナを張り巡らし、即座に対処できる事だと思います。アンサンブルを通して重要不可欠なものを室内楽の授業で学び、個人の成長に繋げていきましょう。



音楽ジャーナリズム論

● 音楽学

音楽学コース4年生の授業です。音楽に関わる多様なジャーナリズムに触れ、各自の研究に応用する方法も探ります。また本学図書館の協力のもと、館内で企画展示を行います。本学の管弦楽団演奏会に因んだ展示では、演奏者へのインタビューやリハーサル見学を通して演奏の場に接し、作曲家や演奏曲目などを紹介する冊子やパネルを作成します。培ってきた知識やスキルを活かし、展示を構想して形作るなかで、さまざまな繋がりや経験をえられるでしょう。

授業紹介

CLASS INTRODUCTION

履修対象 | ● 演奏学科 ● 音楽総合学科 ● 自由科目



室内合唱

● 声乐

声乐専攻学生から選抜された受講生による授業です。授業では西洋音楽の源と呼ばれるグレゴリオ聖歌をはじめ、ルネサンス・古典・ロマン派の作品、そして邦人を含む現代作品などにじっくり取り組み、ひとりひとりの音楽の幅を広げると共にアンサンブルの楽しさ、奥深さを学びます。定期演奏会の他、プロフェッショナルな団体との共演、依頼公演、また小学生向け鑑賞教室など幅広い活動を行い、それぞれで高い評価を得ています。



音楽イノベーション

● 自由科目

音楽は、美しく楽しいものです。しかし、音楽の果たす役割は人々にそのような感覚を与えることだけではなく、さらに大きな可能性を秘めています。20世紀に確立された上演型音楽から発展し、人々の生活の中に介在してきた多様な参加型音楽を新しい時代に合わせてアップデートすることで、音楽の役割を拡張できます。環境、生活、エンターテインメント、教育、医療、福祉、自治体、国際協調、ICTなど、多岐にわたる分野と音楽が連携し果たせる社会的貢献を提案していきましょう。



ミュージカル

● 自由科目

「ミュージカル入門」では、ミュージカルの歴史を学び、「正しい発声」を基礎から実践しつつ、スタンダードから現代に至る曲を受講生が歌って踊り、ミュージカルの楽しさを知ることができます。また、3、4年生ではさらに「ミュージカルⅠ～Ⅳ」として、ミュージカル作品を稽古から上演まで作っていく過程を仲間と経験しながら、歌、ダンス、演技を更にスキルアップさせていきます。なお、「ミュージカルⅠ～Ⅳ」は、声乐コースの3、4年生であれば、希望者は履修できますが、声乐コース以外の3、4年生も、「ミュージカル入門」を履修した上で、オーディションに合格すれば、履修することが可能です。



指揮

● 自由科目

指揮の授業では、2台ピアノ＆2人のピアニストを相手に、交響曲をはじめとしたオーケストラ楽曲の指揮実演を行います。基本となる身体トレーニング、スコアを理解するための楽曲分析（アナリーゼ）、固有の人格を持った人間の集団をまとめるための心の持ち方や必要・有効・適切な言葉の使い方などを学び、指揮者・指導者・教員として音楽芸術の神髄と歓びを指導できる能力を培います。受講生は毎年行われる学内オーディションにより選抜され、年度末に学内発表を行います。



ソルフェージュ

● 全専攻

ソルフェージュは読譜力を養成し、音楽表現を高めることを目的としています。作曲家は楽譜を通じて自らの音楽を伝えており、演奏者には楽譜から様々な音楽的要素を読み取り楽曲の意図を把握する力が不可欠です。まずクラスは習熟度や専攻楽器などを考慮して分けられ、基礎能力である音感・リズム感・和声感を育成するための実践トレーニング、さらには実作品を題材にした応用学習を通じて、修得した能力を各々が音楽活動に結び付けられるようきめ細かく授業を行っています。



初見演奏法

● ピアノ

ピアノ専攻学生を対象とした初見演奏法Ⅰ・Ⅱの授業では、楽譜の情報を素早く読み取り、ソルフェージュや和声の知識と連動させながら音楽を表現する力を養っていきます。将来の演奏家、指導者としての実践能力の向上を見据え、バロックから邦人作品まで、ソロのみならず伴奏や連弾などの楽曲を取り上げます。緊張感がありつつも和やかな雰囲気の中で毎回新しい楽譜と向き合い、短時間で音楽を作りあげていくスキルを身につけていきます。



チェンバロ演奏法

● 自由科目

バロック時代の鍵盤楽器、チェンバロを演奏し実践します。1年目はバッハの教育理論と奏法を分析することから始まり、同時代の作曲家、スカルラッティ、クーラン、ラモー、ヘンデルなどの作品にも触れ、2年目はバッハが多大な影響を受けた17世紀初期、また前古典派の作品にも挑戦してみます。ドイツ、フランス、イタリア、イングランド、イベリア半島など、各地における運指、アーティキュレーション、装飾音、様式の違いを知ることにより、バロック時代の音楽シーンを体感することが目的です。



管弦楽

● 管楽器・打楽器・弦楽器

管弦打楽器専攻によるオーケストラ授業です。各楽器を専門的に学んでいる学生同士で協力して合奏をしています。自分のスキル向上とともに、他の楽器の演奏も聴き合い、アンサンブルをしていくことがより重要になってきます。この授業では主にロマン派以降の作品を取り上げることが多いので、よりレベルの高いアンサンブル能力を鍛えることができます。また本番は、学外のホールでの演奏会になりますので、本番までに必要な準備、リハーサルなどを通して、演奏会を作り上げていきます。

授業紹介

CLASS INTRODUCTION

履修対象 | ● 演奏学科 ● 音楽総合学科 ● 自由科目



オペラ重唱

● 声楽

オペラ重唱は3、4年次で履修することができます。将来、オペラを歌い、演じる上で必要な技術を学びます。3年次ではモーツァルトのオペラを中心に、4年次では3年次で学んだ事を基礎に、ベッリーニ、ドニゼッティ、ロッシーニ等のオペラの一部を演じながら歌唱します。言葉の意味、登場人物の心情を考え、舞台上での立ち居振る舞い、リアクション等を学び、より表現豊かに演奏する事を目指します。色々なアンサンブルを経験する事ができます。



即興演奏入門(ピアノ)

● ピアノ・オルガン

即興演奏は、ただ単に自由に演奏できるオープンな姿勢だけでなく、瞬時に反応する力や、的確に判断する力、さらには音色への探究心、大胆に表現する勇気(表現の解放)など、演奏に対するアプローチを広げられる可能性に満ちていると言えます。本授業では、理論的、歴史的視点はもちろん、それぞれの個性や独自の解釈も尊重するように心がけています。イメージした音がきちんと表現できているか、学生たちと熱く向き合っています。



記譜法

● 音楽総合学科

楽譜は作曲家の意図を演奏者に伝えるメディアであり、音楽の共通言語ですが、様々な書式に則って記譜しないと、正確に情報を伝えることができません。記譜法の授業ではまずその書式について学び、その後手書きで、次に楽譜作成ソフトウェアを用いてピアノ、弦楽四重奏、木管五重奏、金管五重奏、合唱、ギター、ドラム、バンド、吹奏楽、オーケストラなど様々な編成、ジャンルの楽譜を写譜し、幅広い楽譜作成の知識・技術を習得していきます。



フルートオーケストラ(管楽合奏)

● フルート

ピッコロ、コンサートフルート、アルトフルート、バスフルート、コントラバスフルートで編成されるフルートオーケストラの授業では、オリジナル作品及びアレンジ曲を通して合奏技術を学びます。また普段経験することのないバスフルートなどの特殊管についても経験することができます。受講者皆で曲を作り上げていくことで、ソロの演奏では味わうことのできない達成感を得ることができます。全国各地で行われているフルートオーケストラに貢献できる人材育成も目指しています。



ポピュラー・カルチャー論

● 自由科目

この授業ではポピュラー音楽をキーワードに文化がどのように形成されるのかを視聴覚資料や分析データや実演などを交えて学びます。そして現代のJ-POPやアニメの音楽やボカロの分野にも踏み込んで、欧米の音楽文化の影響がどのように日本的オリジナルな表現として変容するのかを考察してみます。またその背景にある環境(自然、社会、人的)や経済や時代性にも注目してみます。この授業を一言で言うならば「楽しく学べる文化人類学入門」です。



様々な音楽の演奏実践(西洋古楽)

● 自由科目

ルネサンスやバロック時代に活躍した弦楽器《ヴィオラ・ダ・ガンバ》の奏法を構え方や運弓法から丁寧に学びます。主に教材には当時の舞曲を用い、トレブル、テナー・バスなど大きさの異なる楽器を弾き分ける事により2声から徐々に5声までのコンソートに挑戦します。アンサンブルという形態を取りながら合奏の技術を養い、音楽表現に欠かせないハーモニー感を深めるとともに、古楽の豊かな魅力を体験します。



管・打楽器合奏

● 管楽器・打楽器

管打楽器専攻学生による合奏授業です。1年生によるシンフォニック・バンド、2年生によるウィンド・オーケストラ、3、4年生によるコンサート・バンド、そしてウィンド・アンサンブルにおいて、合奏の基本練習、吹奏楽作品の演奏、レパートリーの拡大・修得を行います。吹奏楽における古典、1950～70年代のアメリカの吹奏楽のオリジナル作品、邦人作品、新作などを用いて、演奏技術や音楽性を高めていきます。



和声

● 全専攻

和声では音楽の響き(和音)とその流れ(和音進行)を学びます。響き合う表現である音楽の基礎となるもので、和声を学んで響きを体感することは音楽(自己)表現の豊かさにつながります。様々なジャンルの音楽を形成するコード理論のルーツでもある和声。学ぶ価値大です。伝統的な「安定性の中に変化を求める」音楽理論ですが、時にはポップスやロックと比較してその特徴をより深く理解することも。高校と大学の連携授業なので、互いに刺激を受け合いながら学んでいます。



Campus Life

〈STUDENT'S MESSAGE〉

演奏学科編



曾田 美音 ヴァルトウオーゾコース ピアノ専攻 4年
武蔵野音楽大学附属高等学校出身

演奏家としての礎を築く 充実したカリキュラム

ヴァルトウオーゾコースの実技試験は、全て公開試験となっています。リサイタル形式で行うため、お客様の前で演奏する機会が増え、自分が演奏家であるという自覚が高まります。さらに、一度の試験で長時間のプログラムを組むため、卒業するまでに多くのレパートリーを得ることができます。また、演奏解釈研究や曲目構成などを学ぶ実践的な必修科目があり、プロの演奏家になるために必要な専門知識を身につけることができます。



春口 峻也 器楽コース フルート専攻 4年
横浜市立戸塚高等学校出身

全てを演奏の糧へと変える

これまでの大学生活を振り返り、たくさんの経験をさせてもらいましたが、その多くは失敗をした経験でした。失敗をした時、なぜ失敗したのか、結果に至るまでの過程を見直し、改善をしていく、この繰り返しをしているうちに少しずつ見える景色が変化しました。毎週のレッスンや合奏、図書館の膨大な資料は、面白く刺激的で演奏のためのアイデアをもらえます。そこから得たアイデアを試行錯誤して、思考して…これからも失敗を恐れず挑戦すること、自由な発想を大切にしたいです。

自分の声と向き合い 可能性を高める場所

個人レッスンでは先生が一人ひとりに寄り添い丁寧に教えてくださるので、多くの学びを得ることができます。また合唱、オペラ、ミュージカル等さまざまなジャンルの授業演奏を通して、自分自身の可能性を高めることができ、将来を見据えた大学生活を送ることができると感じています。瞬間芸術である音楽において、技術のみならず自身の感性を磨き、言葉が持っている意味をどのように表現するかを追究していくことが私の今後の音楽人生の課題なのだと考えています。



森本 真由 声楽コース 4年
土佐女子高等学校出身

自分と音楽を日々磨き 輝いた未来へ

素晴らしい音楽には、人の心に訴えかける力があります。私はそのような演奏がしたいので、昨日の自分から毎日少しでも成長すれば、いつか大きな花が咲くと信じて日々研鑽を積んでいます。また、レッスンや室内楽、オーケストラの授業、仲間とのアンサンブルでは、たくさんの気づきを得ることができます。これを練習室で自分のものにしていくことで、音楽性が高まると考えています。この素敵な環境で学べることに感謝し、目標に向かって努力します。



和田 直子 器楽コース ヴァイオリン専攻 4年
武蔵野音楽大学附属高等学校出身



大森 愛奈 器楽コース 打楽器専攻 4年
埼玉栄高等学校出身

大好きな音楽、仲間と共に 自分の拠り所を作ってくれる場所

大学生活において個人のことでなく、アンサンブルや合奏の授業、学内の本番や行事を通して仲間と協力して音楽を作り上げていく大切さを感じながら毎日楽しく音楽と向き合っています。また素晴らしい先生方のご指導と、たくさんの楽器に囲まれながら自分自身を見つめ、将来に向けてやらなくてはならないことを着実に感じながら、充実した日々を過ごすことができる場所です。素晴らしい環境で音楽を存分に学び、自分と向き合い続けていきたいです。



坂本 明子 器楽コース ピアノ専攻 4年
武蔵野音楽大学附属高等学校出身

音に囲まれて得る、人生の糧

主科の先生をはじめ、素晴らしい先生方からご指導いただいています。特に、3年次以降は履修できる科目の幅が広がるので、今年度からドイツリート伴奏法とチェンバロ奏法を学んでいます。それぞれの奥深さを痛感する毎日です。これらの科目は学期末等に発表の場があり、演奏することへの意識が高まります。大学院への進学や就職など、卒業後の選択肢は以前よりも多岐にわたっています。本学で体得した知見と共に、これからも音楽と向き合い続けたいです。

Campus Life

〈STUDENT'S MESSAGE〉

音楽総合学科編



渋谷 瑛 音楽教育コース 4年
東京都立杉並高等学校出身

「教えるプロ」になるために

音楽教育コースでは、教員を志す仲間たちと共に、音楽科教員に必要な幅広い知識、教養、技術を身につけることができます。教育のプロである先生方のもと行われる授業はどれも目から鱗で、指導案の作り方や指導のコツなど、教員として必要な知識を得ることができるため、毎日授業を受けるのが楽しみです。また、実技科目として、主専攻の基礎実技や、主専攻以外の楽器を副科として学ぶこともでき、自分の目指す教員像をまっすぐに追いかけて日々を過ごすことができます。

舞台を企画し、陰から支える

幼少期よりコンクールや発表会を通して、裏から公演を支える仕事に興味を持ち、本コースに入学しました。本コースでは広報、音響、照明、企画制作などの技術を学ぶことができるのに加え、文化政策等の知識も学ぶことができます。知識面、技術面のさまざまなことが勉強でき、とても充実した日々を送っています。1つの企画を作り上げることは大変ですが、同じ志を持つ仲間たちと協力して、日々より良いものを作り上げられるよう励んでいます。



今川 知彩 アートマネジメントコース 4年
湘南工科大学附属高等学校出身

私が武蔵野音大を選んだ理由



大竹 豊
ヴィルトゥオーゾコース
声楽専攻 2年
武蔵野音楽大学附属高等学校出身

音楽に没入できる空間

幼い頃からの憧れである谷友博先生に師事したいと決意し、本学を志望しました。自分の課題が改善されていくのを肌で感じるレッスンの他、各々の授業は音楽の研鑽に繋がるカリキュラムとなっており、日々多角的に音楽にアプローチできます。空いた時間も練習室や、蔵書の豊富な図書館で音楽に浸ることができる空間だと思います。



久保 舞華
ヴィルトゥオーゾコース
フルート専攻 2年
鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校出身

音楽に全力で打ち込むことができる場所

私が本学を志望した理由は、柳原佑介先生に師事したいと思ったからです。先生の音楽の考え方や音色などから日々たくさんの新しい発見ができ、改めて音楽への情熱・楽しさを知ることができました。また、武蔵野音楽大学には教育方針の中にある「人間形成」から、演奏技術や知識だけでなく人としても成長できる魅力ある場所だと感じています。



後藤 紫織
ヴィルトゥオーゾコース
ヴァイオリン専攻 2年
埼玉県立大宮光陵高等学校出身

5年間一途に想い続けた武蔵野音大へ

中学2年生の時に丸山由里子先生に出会い、体験レッスンを受講しに初めて武蔵野音楽大学を訪れました。響きの良いレッスン室、楽譜が充実した図書館、穏やかな雰囲気と人々の温かさ、そして何より尊敬する先生に師事できる毎日が私の憧れとなり、その日のうちに『武蔵野音大へ進学する』と両親に宣言しました。



瀬良 杏奈
ヴィルトゥオーゾコース
ピアノ専攻 2年
香川県立坂出高等学校出身

音楽と真剣に向き合える時間

私が本学を志望した理由は、重松聡先生に師事したいと思ったからです。先生の演奏や指導に対する深い情熱に感銘を受け、先生のもとで自身の技術と音楽表現をさらに深めたいと強く思いました。また、本学の充実した環境や豊富な演奏機会は、音楽だけに集中できる理想的な学びの場であり、自分の音楽の可能性を大きく広げられると思っています。



堀越 姿記 作曲コース 4年
埼玉県立本庄高等学校出身

自分の音楽を見つける場所

個人レッスンでは自作品について指導をしていただき、授業では伝統的なクラシック音楽だけでなくさまざまな音楽について学び、音楽に対する視点を増やしていきます。そこで得たものを自作品に活かしていきます。同じ授業を受けていても、作る作品は人それぞれです。一緒に学ぶ仲間たちから刺激を受け、自分自身を見つけしていきます。自分の作品を演奏してもらえる機会が多くあるのも魅力です。作品制作を通して、日々自分自身と見つめあっているように感じます。

多彩なアプローチで音楽に向き合いながら…

音楽に関わる多様なテーマについて学びを深めるなかで、各自の問題意識を明確にすると共に、音楽を研究するための基礎を修得します。また、授業内でプレゼンテーションを行う機会があり、そこで楽譜などさまざまな資料から読み取ったり、分析したりしたことを言語化してまとめ、発表する訓練をすることができます。これらの経験は、音楽の専門的な知識を身につけられるだけでなく、将来幅広く応用できる基礎的能力を得ることに繋がる活動です。



村井 美穂 音楽学コース 4年
千葉県立柏井高等学校出身

Campus Life

〈ANNUAL EVENTS〉

年間行事



入学式



演奏旅行



ニュー・ストリーム・コンサート

4

April

- 入学式
- 新入生歓迎行事
- ガイダンス
- オリエンテーション
- 音楽学部卒業生新人演奏会
- 大学院修士課程在学学生コンサート

5

May

- おたまじゃくしコンサート
- 大学院修士課程修了生新人演奏会
- 管弦楽団ソリスト選抜オーディション(ピアノ・管打弦)

6

June

- ニュー・ストリーム・コンサート



7

July

- ウィンドアンサンブル演奏会・演奏旅行
- 前期実技試験
- グループコンサート
- 授業研究発表
- セミナー

8

August

- 前期クラス授業科目試験
- 夏期休暇

9

September

- 管弦楽団演奏会・演奏旅行
- 選抜学生コンサート



10

October

- 選抜学生コンサート
- 室内楽演奏会

11

November

- ミューズフェスティバル(学園祭)
- オペラ選抜クラス試演会
- ニュー・ストリーム・コンサート
- 管弦楽団演奏会

12

December

- 室内合唱団演奏会
- ウィンドアンサンブル演奏会
- 年度末実技試験(〜2月)
- クリスマスイベント
- 冬期休暇

1

January

- 室内楽演奏会
- 授業研究発表
- 後期クラス授業科目試験

2

February

- 卒業演奏会選抜オーディション
- 次年度授業履修者選抜オーディション

3

March

- 卒業演奏会
- 卒業式
- 卒業謝恩パーティー



室内合唱団演奏会



クリスマスイベント



卒業式

クラブ&サークル

授業、練習、勉強と忙しい中でも、クラブ・サークル活動を通じた友人たちとの交流がキャンパスライフを一層充実させます。多くのクラブ・サークルはミューズフェスティバルで、日頃の活動の成果を発表しています。



ジャズ研究部



ミュージカル研究部



邦楽部

ヴォーカルアンサンブル部/オペラ研究部/合唱研究部/華道部/サイクリング部/サッカー部/茶道部/写真部/ジャズ研究部/宗教音楽研究部/スキー部/ダンス部/ドイツ音楽文化研究部/バドミントン部/邦楽部/ミュージカル研究部/ミュージックセラピー研究部/リコーダーアンサンブル部/ワンダーフォーゲル部/けん玉同好会/ヨガ同好会/ロシア歌曲研究同好会/マーチングサークル/人狼サークル/アンサンブル愛好会/チアダンス愛好会

Muse Festival ミューズフェスティバル(学園祭)

ミューズフェスティバルは年間最大の学友会主催イベントで、華やかに開催されます。日頃の研究成果の発表の機会として、毎年多数の学生演奏団体が出演するほか、本学管弦楽団・フルートオーケストラ・招待演奏など、質も高く内容の濃い演奏が行われます。また、クラブ団体、各楽器会による展示(クラブ活動発表等)や模擬店、そして学生たちが制作した装飾が音楽祭としての雰囲気を盛り上げています。学生が企画、運営するこのミューズフェスティバルは、大学生活におけるかけがえのない経験となるイベントです。



Campus Life

〈キャンパストピックス〉

コンサート

本学では、多くの舞台経験ができるよう、管弦楽、吹奏楽、合唱の定期演奏会やオペラ公演、選抜学生コンサート、学生による演奏会など、学生自らが日頃の研究成果を発表する演奏会を多数開催しています。

また、著名な内外の演奏家を多く招聘し、第一級の音楽を聴く機会を積極的に提供しています。これらのコンサートや公開講座を、本学学生は無料で聴くことができます。



ウインドアンサンブル演奏会



管弦楽団演奏会



室内合唱団演奏会

演奏旅行

本学では、国内外でオーケストラ、ウインドアンサンブルなどの演奏旅行を行っています。

国内の演奏旅行は、同窓生のサポートを受け毎年全国各地で行っています。また、1977年の第1回ヨーロッパ演奏旅行以来、長年にわたり海外演奏旅行も実施しています。



テリー・オースティン客員教授、リチャード・メイン客員教授、レイ・E. クレーマー名誉教授、クリストファー・マーティン氏(客演ソリスト)、ジェームズ・M. ランブレクト客員教授/ミッドウェスト・クリニック:シカゴ(アメリカ)

レイ・E. クレーマー名誉教授/
日本吹奏楽指導者クリニック:静岡県

日本吹奏楽指導者クリニック:静岡県
サクソフォン独奏=住谷美帆

武蔵野音楽大学同窓会岡山県支部創立60周年記念演奏会:
岡山芸術創造劇場ハレノワ中劇場



ヨウコ・ハルヤンネ
トランペット・ミニコンサート&マスタークラス



土屋優子ソプラノ・リサイタル



坂東玉三郎特別招聘教授 公開講座



室内楽演奏会



ミッドウェスト・クリニック:シカゴ(アメリカ)



ミッドウェスト・クリニック会場にて:シカゴ(アメリカ)



熊本県立劇場:熊本県



特別オペラ公演《助けて! 助けて! 宇宙人が襲ってきた!》



ニュー・ストリーム・コンサート



演奏旅行先中学生へのパート別レッスン:熊本県



オーバード・ホール:富山県



演奏旅行先同窓生との交流:富山県



音楽学部新人演奏会



ケマル・ゲキチ ピアノ・リサイタル



管弦楽団演奏会 指揮:和田一樹



崔文洙 ヴァイオリン コンサート&公開講座



リスト音楽院:ブダペスト(ハンガリー)



ヘラクレスザール:ミュンヘン(ドイツ)



パイロイト祝祭劇場:ドイツ

[大学院 3つのポリシー]

アドミッション・ポリシー
(入学者受入れの方針)
https://www.musashino-music.ac.jp/graduate/graduate/admission_policy



カリキュラム・ポリシー
(教育課程編成・実施の方針)
https://www.musashino-music.ac.jp/graduate/graduate/curriculum_policy



ディプロマ・ポリシー
(学位授与の方針)
https://www.musashino-music.ac.jp/graduate/graduate/diploma_policy



大学院音楽研究科

今日、ますます高度化、多様化する現代社会に貢献できる、有能な人材の育成が求められています。音楽の世界においても、世界の頂点を目指す演奏家や、質の高い研究者の養成が望まれてきました。本学では、1964年に大学院音楽研究科博士前期課程(修士課程)を、2004年に博士後期課程を設置しており、大変高度な教育研究体制が整っています。充実した組織と施設、設備のもとで、理論と応用、演奏と創作芸術を研究指導し、音楽芸術を深く究め、国際的にも通用する優れた演奏家、研究者、教育者を社会に送り出しています。



■ 博士前期課程（修士課程）

修士課程の教育研究目的

修士課程は、学士課程の教育成果の上に立ち、音楽芸術についての深い学識と技術を授け、音楽家又は音楽研究者として必要な高度の能力を備えた人材の育成を目的とします。

修士課程では、5つの専攻(器楽、声楽、作曲、音楽学、音楽教育)を設けています。それぞれの専攻する分野において、より高いレベルの技術・能力の修得を目指し、レッスン、研究に取り組みます。伴奏を含むアンサンブル技術、楽曲や資料等の分析能力等においても、学士課程での学びをベースに高度な専門性を追究します。修了者は、プロの演奏家や研究者、教育者として活躍しています。

なお、ヴィルトゥオーゾコースを含む器楽専攻(ピアノ)の学生で、修了時に最優秀の成績を修めた者には、日本の音楽界に多大な貢献を果たした故レオニード・クロイツァー教授の功績を記念して制定された「クロイツァー賞」が授与されます。

博士前期課程（修士課程）		学位	学位審査
器楽専攻	器楽コース（有鍵楽器・管楽器・打楽器・弦楽器）	修士（音楽）	●所定の授業科目 30 単位以上を修得 ●専攻実技の修了試験、修士論文等の審査 ※ただしヴィルトゥオーゾコースは修士論文を課さない。
	ヴィルトゥオーゾコース（有鍵楽器・管楽器・打楽器・弦楽器）		
	ピアノコラボレティヴアーツコース		
声楽専攻	声楽コース	修士（音楽）	
	ヴィルトゥオーゾコース（声楽）		
作曲専攻		修士（音楽）	
音楽学専攻		修士（音楽学）	
音楽教育専攻		修士（音楽）	

入学定員：65名 標準修業年限：2年 ただし4年間の在学研究が可能。また通算して3年間の範囲で留学等による休学が認められる。

● ピアノコラボレティヴアーツコース

ピアノコラボレティヴアーツとは、声楽家や器楽奏者など、共演者ととともに音楽を創り出していくコラボレティヴピアニストを養成するコースです。経験豊かな講師陣が器楽・声楽・オペラなどの分野を体系的、実践的に幅広く指導し、その成果を定期的に発表して舞台経験を積み重ねていきます。

Message



目黒 遥菜

2025年本大学大学院修士課程ヴィルトゥオーゾコース（ピアノ専攻）修了
2025年クロイツァー賞受賞

この度はクロイツァー賞という栄誉を賜り、心より感謝申し上げます。福井直昭先生を始め、諸先生方や同じ志を持った友人に出会うことができ、また音楽を通して豊かな感性や人間性など、6年間さまざまなことを学ばせていただきました。特に大学院ではより高度な授業が展開されており、自分の音楽的な視野が広がり、技術的な向上だけでなく、創造性や表現力を培うことができました。積み重ねた経験を元にさらに磨きをかけ、音楽を追求していく気持ちと支えてきてくださった方への感謝の気持ちを忘れず、日々精進していきたいと思います。



呉 錦華

本学大学院音楽研究科修士課程（チェロ専攻）2年次在学中
2024年本学管弦楽団ソリストオーディション合格

武蔵野音楽大学は学生に豊富な演奏機会を提供してくれる点が大きな魅力の一つです。2024年に私は幸運にも協奏曲のソリストに選ばれ、オーケストラと協演するという貴重な経験をさせていただきました。本番に至るまで、先生方や学友から多くの助言とサポートをいただき、何度も丁寧にリハーサルを重ねることができました。このような大きな舞台に立てるとは、以前の私には想像もできないことでしたが、武蔵野音楽大学はその夢を実現するための環境と機会を与えてくれました。

■ 博士後期課程

博士後期課程の教育研究目的

博士後期課程は、音楽芸術の分野について広い視野に立ち、その理論及び技術をさらに深く教授研究し、その深奥を究め、自立して芸術活動又は研究活動を行うに必要な能力を備えた音楽家又は音楽研究者を養成することを目的とします。

博士後期課程では、5つの研究領域(器楽、声楽、作曲、音楽学、音楽教育)を設けています。キャンパスには博士後期課程学生専用の研究室があり、コンピュータ、オーディオ機器のほか、コンサートホールや、図書館など、最高の環境で学ぶことができます。器楽および声楽の研究領域では毎年リサイタル形式の公開演奏試験があり、作曲の研究領域では毎年作曲作品の審査があります。学位を取得した者は、その高度な知識と専門性を活かして、演奏、創作、研究、教育など、さまざまな分野で自立した活動をするチャンスが開かれます。

博士後期課程		学位	学位審査
音楽専攻	器楽研究領域	博士（音楽）	●所定の授業科目10単位以上を修得 ●研究領域ごとに定められている学位審査
	声楽研究領域	博士（音楽）	
	作曲研究領域	博士（音楽）	
	音楽学研究領域	博士（音楽学）	
	音楽教育研究領域	博士（音楽）	

入学定員：10名 標準修業年限：3年 ただし5年間の在学研究が可能。さらに3年間の範囲で留学等による休学が認められる。

別科

別科は、音楽を志す幅広い年齢層を対象に、音楽の技術および知識のレベルアップを図ることを目的としています。実技科目である週1回の個人レッスンと、学科科目である「西洋音楽史Ⅰ」「西洋音楽史Ⅱ」「音楽理論Ⅰ」「音楽理論Ⅱ」を受講することができます。1年間で実技科目と2科目以上の学科科目を履修し、それぞれ2/3以上を出席したうえで、実技科目の修了審査に合格した者に修了証書を授与します。別科生は在学中、武蔵野音楽大学の学生としてサポートが受けられます。

器楽コース	有鍵楽器・管楽器・打楽器・弦楽器
声楽コース	
作曲コース	
指揮コース	

入学定員：80名 修業年限：1年 対象：高等学校卒業同等以上
※詳細は別科入学者選抜要項でご確認ください。

キャリアサポート

本学では、就職課がキャリアサポートを担当しています。職員にはキャリアコンサルタントの国家資格をもつ者もあり、教員と連携をとりながら、就職・進学に関する相談に対応しています。また、卒業後のそれぞれの進路に応じ、以下のような特色ある支援を実施しています。



就活セミナー

主に、民間企業への就職を希望する学生を対象に「就活セミナー」を実施しています。「筆記試験」「面接」「グループディスカッション」などの実践を交えたテーマごとの対策により、本選考に自信を持って臨むことができます。

就活概論/適職診断/インターンシップ/筆記試験/エントリーシート/履歴書の書き方/面接(個人・集団)のポイント/グループディスカッション/時事問題対策 など

業種別ガイダンス

これから就職活動を始める学生に対して、就職活動をする上で必要となる様々な情報を業種別に提供しています。特に、内定を得た4年次生から、就職活動の体験談や受験時の様子、勉強法などについて具体的な話を聞く機会を設けており、それぞれの就職活動に役立てられています。

民間企業(音楽系企業を含む)/音楽教室講師/教員(公立・私立)

企業等説明会

企業や団体の方を招いて説明会を実施しています。企業・団体等に勤務または所属した卒業生に加わっていただき、学業と就職活動をどのように両立したかなど、様々な体験談を聞く機会を設けています。

自衛隊音楽隊/警察音楽隊/ヤマハ音楽振興会/島村楽器/サクライ楽器/ヤマハ吹奏楽団/劇団四季/二期会/日本オペラ振興会/民間企業(音楽系企業を含む) など

教員・音楽教室講師を目指す人のための特別講座

公立学校教員採用候補者選考と音楽教室講師の受験対策として、以下の講座を実施しています。

「教職教養講座」…学校教育法・学習指導要領・教育理論・教育時事等について学びます。

「音楽専門教養講座」…公立学校教員採用候補者選考で、中・高音楽の教科書から出題される事項を中心に学びます。

「論文文講座」…各都道府県の公立学校教員採用候補者選考で求められる論文の基本的な記述力を身につけ、さらに最近の出題傾向を把握し、重要な教育課題や具体的な問題解決の方策について理解を深めます。

「実技講座」…コードネームを用いた弾き歌い・伴奏付け・新曲視唱・初見演奏等の能力を身につけます。本講座は音楽教室講師を目指す方も対象としています。

教員採用試験対策

公立学校教員採用候補者選考の受験者を対象に、本学音楽教育コースの教員および外部講師を招いて「一次選考対策講座」および「二次選考対策講座」を実施しています。模擬授業や面接、実技、論文の記述法などについて、実践的で細やかな指導を行っています。また、「教員採用模擬試験(全国模試・県別対策模試)」を学内で受験する機会を設けています。

私立学校教員を目指す学生には、履歴書や作文の添削、模擬面接等の指導を行っています。

個人面談(大学2・3年次生対象)

大学2・3年次生全員を対象に個人面談を実施しています。大学2年次生の面談では、将来の希望や目標を確認し、準備開始時期・内容について確認します。大学3年次生の面談では、明確なキャリアプランを立て、「今、何をすべきか」を一緒に考え、そのための具体的な情報を提供します。進路の悩みについて解決策と一緒に考えるなど、学生一人ひとりに寄り添ったサポートをしています。

個別支援

進路に関して不安や悩みを抱える学生に対し、個別相談を受け付けています。また、就職を希望する学生には、エントリーシート・履歴書・作文の添削等の指導を随時行っています。音大生ならではの強みや一人ひとりの個性を活かしたPRができるようアドバイスしています。

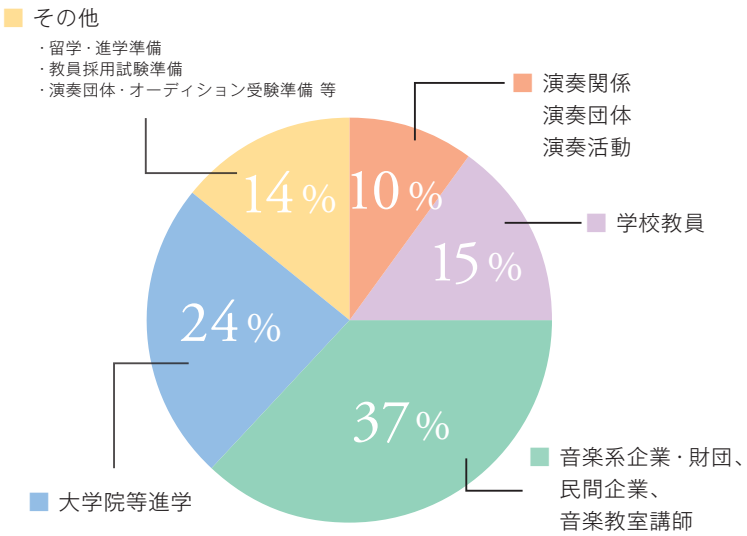
また、模擬面接もっており、面接のスキルアップに向けた練習をしています。併せて、社会生活で役立つ言動や礼儀作法も指導しています。

進路状況

2023年度実績

かつての音楽大学生の就職先は、オーケストラや合唱などの演奏団体、教員関係や音楽教室講師などが主なものでした。しかし、最近ではアートマネジメントなど音楽関連マーケットが拡がり、さまざまな分野の企業が音楽の素養を持つ人材を求めており、本学でも卒業生の活躍するフィールドの幅が広がっています。

また、卒業後にさらなる研鑽を積むため、大学院進学、留学、研修員、研究生などを希望し、演奏家を目指す学生も相当数にのびります。



・近年の主な就職先 演奏団体 : スタヴァンゲル交響楽団(ノルウェー)/ジュール・フィルハーモニー管弦楽団(ハンガリー)/チェコ国立ブルノ・フィルハーモニー管弦楽団(チェコ共和国)/ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団(オランダ)/ウィーン・フォルクスオーパー(オーストリア)/ピアチェンツァ歌劇場合唱団(イタリア)/フィンランド国立歌劇場合唱団(フィンランド)/ミラノ・スカラ座合唱団(イタリア)/ブフォルトツハイム市立歌劇場(ドイツ)/リリック・オペラ・オブ・シカゴ(アメリカ)/NHK交響楽団/大阪交響楽団/神奈川フィルハーモニー管弦楽団/九州交響楽団/群馬交響楽団/新日本フィルハーモニー交響楽団/セントラル愛知交響楽団/東京交響楽団/東京都交響楽団/東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団/東京吹奏楽団/日本フィルハーモニー交響楽団/バシフィックフィルハーモニア東京/富士山静岡交響楽団/山形交響楽団/東京佼成ウインドオーケストラ/劇団四季/フォレスト/新国立劇場合唱団/東京混声合唱団/陸・海・空自衛隊音楽隊/埼玉県警察音楽隊/千葉県警察音楽隊/名古屋市消防音楽隊/横浜市消防音楽隊/Kバレエカンパニー(ピアノ伴奏) 他 教員関係 : 帝京科学大学/有明教育芸術短期大学/札幌こども専門学校/岩倉高等学校/慶應義塾女子高等学校/千葉英和高等学校/日本工業大学駒場高等学校/明秀学園日立高等学校/山村国際高等学校/品川女子学院中等部・高等部/芝浦工業大学附属中学高等学校/聖ヨゼフ学園中学・高等学校/新島学園中学校・高等学校/八千代松陰中学校・高等学校/清明学園中等部/開智望小学校/暁星国際流山小学校/聖セシリア小学校/聖徳大学附属小学校/瀬戸 SOLAN 小学校/捜真小学校/星野学園小学校/つるみね幼稚園/東京いずみ幼稚園 他公立・私立学校教員採用者多数 音楽系企業 : エス・シー・アライアンス/オフィス新音/加藤健一事務所/河合楽器製作所/サウンドハウス/サントリーパブリシティサービス/シアターワークショップ/四季/島村楽器/下倉楽器/スガミ楽器/タクティカート/ダク/タケナカ/特定ラジオマイク運用調整機構/ノア/ハーモニージャパン/ハンナ/billboard/ホットタグフ/宮地楽器/ミュージックエイト/村松楽器販売/村松フルート製作所/山野楽器/ヤマハ/ヤマハミュージックジャパン 他 音楽系財団 : 市川市文化振興財団/群馬交響楽団/新国立劇場運営財団/東京都歴史文化財団/所沢市文化振興事業団/とちぎ未来づくり財団/練馬区文化振興協会/武蔵野文化生涯学習事業団 他 音楽教室講師 : アミーズ音楽教室/いけぶくろ楽器/エークラスミュージック/音楽工房ピアスタ/カワイ音楽教室/サクライ楽器/島村楽器/信学会/並木音楽教室/広野音楽教室/1st stepミュージック/深川音楽教室/宮地楽器/山野楽器/ヤマハ音楽教室 他 一般企業 等 : アニエスベージャパン/我孫子市役所/ANAエアポートサービス/ANAシステムズ/オリエンタルランド/カインズ/カシオ計算機/霞ヶ浦学園/カメラのキタムラ/キザニア東京/キャノン電子テクノロジー/教育出版/CLOVER/越野建設/ゴディバジャパン/埼玉医科大学病院/Sansan/ザ・キャピトルホテル東急/静岡朝日テレビ/Jpエンジン/JALナビア/スターバックスコーピージャパン/住友林業/セイコーエプソン/仙北市役所/全日本空輸(ANA)/草加市役所/SOMPOダイレクト損害保険/Zoff/第一生命保険/大和ハウス工業/チャコット/TBSスパークル/東急リゾーツ&ステイ/TRUNK HOTEL/日本印刷/日本出版販売/日本郵便/日本ロレアル/東日本旅客鉄道(JR東日本)/ビックカメラ/P&Gプレステージ/北洋銀行/舞浜コーポレーション/三井物産/三井物産ビジネスパートナーズ/三菱UFJモルガン・スタンレー証券/明治安田生命保険/USEN-NEXT GROUP/ライন্ズ/ランドマーク税理士法人/LIXILトータル販売/リソナホールディングス/レパレージュ/WOWOW/ワコール 他

・近年の主な留学先 ・アムステルダム音楽院(オランダ) ・イモラ国際ピアノアカデミー(イタリア) ・インディアナ大学ジェイコブズ音楽院(アメリカ) ・ウィーン国立音楽大学(オーストリア) ・エコールノルマル音楽院(フランス) ・ケルン音楽舞踊大学(ドイツ) ・シュトゥットガルト音楽演劇大学大学院(ドイツ) ・ジュリアード音楽院(アメリカ) ・チューリッヒ芸術大学(スイス) ・スコラ・カントルム(フランス) ・パリ地方音楽院(フランス) ・バルマ音楽院 「アッリゴ・ボーイト」(イタリア) ・ハンス・アイスラー音楽大学(ドイツ) ・ハンブルク音楽演劇大学(ドイツ) ・ブラハ芸術アカデミー(チェコ共和国) ・ブリュッセル王立音楽院(ベルギー) ・ベルリン芸術大学(ドイツ) ・ボストン音楽院(アメリカ) ・マーストリヒト音楽院(オランダ) ・マンハイム国立音楽舞台芸術大学(ドイツ) ・ミラノ音楽院(イタリア) ・ロストック音楽演劇大学大学院(ドイツ) 他
--



卒業生の活躍

GRADUATE SUCCESS

音楽を通じて人間としても成長。 世界の舞台へと押し出してくれた特別な学び舎

オペラ歌手（バリトン） 大西 宇宙

本大学 音楽学部 声楽学科卒業
本大学院修士課程修了

音楽大学という場で培った技術、知識、実践力といったことも勿論ですが、様々な才能や個性を持つ仲間達との出会いが、私を今の国際舞台に押し上げてくれた原動力だと思います。また、音楽家として以前に、人間としていかにあるべきか、と言うことを学んだ場所でもありました。素晴らしい環境で、様々なことに柔軟に挑戦していきましょう。

Profile

武蔵野音楽大学首席卒業、同大学院首席修了。ジュリアード音楽院で優秀な成績を残し、多くの国際コンクールで優勝した。米国のオペラ・ハウスでデビュー・活躍し、日本でもNHK交響楽団、セイジ・オザワ松本フェスティバル等でも重要な公演のソリストを歴任。現在も国内外でさまざまな演奏活動を展開している。五島記念文化賞オペラ新人賞、日本製鉄音楽賞、ホテルオークラ音楽賞、文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。

©Marco Borggreve



自分次第で無限に広げられる学びの領域

新国立劇場バレエ団カンパニーピアニスト 蛭崎 あゆみ

本大学 音楽学部 器楽学科 ピアノ専攻卒業

大学時代には、ソロのピアノ以外にもアンサンブルを学ぶことが出来る機会が豊富にあり、仲間と一緒に作品を学び、共に作り上げる楽しさを知りました。バレエの世界はまさに踊り、音楽、美術の分野の人間が集まって作り上げる総合芸術で、大学時代の経験が私の現在のバレエピアニストという仕事につながっています。素晴らしい環境のもとで学びに集中できる4年間、存分に活かして自分の可能性を広げて下さい。

Profile

武蔵野音楽大学卒業。蛭崎裕子、鈴木洋、ペラ・シキに師事。2004年パリオペラ座バレエピアニストコンクールに入賞。2006年バレエピアニストとして初の文化庁在外研修員としてウィーン国立オペラ座バレエ団にて研鑽を積む。現在新国立劇場バレエ団カンパニーピアニスト。

音楽と向き合い、自分と向き合うキャンパスライフ

東京佼成ウインドオーケストラホルン奏者 堀 風翔

本大学 音楽学部 演奏学科 器楽コース ホルン専攻卒業

音楽を学ぶ中で悩むこともあるかもしれませんが、その過程で得られる喜びや成長は大きな財産になります。武蔵野音楽大学では、先生方や仲間とともに学び、刺激を受けながら成長できる環境が整っています。努力を続けた先には、新しい自分との出会いがきっとあるはずです。自分のペースで歩みながら音楽の道を楽しんでください。その経験は、必ずあなたの未来を大きく広げるはずです。

Profile

武蔵野音楽大学卒業。第1回日本ホルンコンクール第5位入賞。ホルンを須山芳博、丸山勉、室内楽をK.ベルケシュの各氏に師事。シュテファン・ドール、ブルーノ・シュナイダー両氏のマスタークラスを受講。東京佼成ウインドオーケストラ楽団員。東京ELEMENTSメンバー。



先生との出会いが大学時代の一番の思い出

歌手・NHK「おかあさんといっしょ」第17代 歌のお姉さん 茂森 あゆみ

本大学 音楽学部 声楽学科卒業

大学生活で一番の思い出は、歌のレッスンです。私の先生は調子のいい日も悪い日も「いいぞ！良い声だ！」と、とにかく褒めてくださる方でした。おかげでいつもリラックスした状態で魔法にかかったかのように声が出るようになりました。恩師に勧められ在学中に始めたNHK「歌のお姉さん」は、私の人生を大きく変えました。先生が常に寄り添い、そばで見守りながら応援して下さいたお陰で今の私があると感謝しています。

Profile

武蔵野音楽大学附属高等学校、武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業。1993年～1999年NHK「おかあさんといっしょ」第17代歌のお姉さん。2003年～2013年NHK 音楽番組「クインテット」アリアの声優を担当。3兄妹の母。現在、育児をしながら、コンサート開催等の活動をしている。



音楽に没頭できる、新しい未来を作れる環境

ピアノタレント 永藤 まな（まなまる）

本大学 音楽学部 器楽学科 ピアノ専攻卒業

音楽は向き合う時間が長ければ長いほど、未来は広がっていくと感じています。そのためには環境もとても大切です。武蔵野音楽大学で学んだ4年間、ピアノだけでなく、充実したカリキュラムやサポートのもと、様々な方向から『音楽』を吸収することができました。そしてキャンパス、先生、学友、そして街…どれもかけがえのない私のピースです。

音楽には無限の可能性があります！ぜひ探求し、没頭してみてください。みなさんの素敵な未来の扉が開かれますように！

Profile

2016年より永藤まな名義で活動を開始。ピアノ演奏のみならず、そのタレント性から各方面で精力的に活動中。また、クレヨンしんちゃんの歌モノマネ「もしもクレヨンしんちゃんが〇〇を歌ってみたら」が各SNSで反響を呼び、さらに注目を浴びる。現在、TBS朝の情報番組「THE TIME.」にてレギュラー出演中。



ソリスト、室内楽奏者として活動する力と プロ意識を培った6年間

ピアニスト 木林 理絵

本大学 音楽学部 ヴィルトゥオーゾ学科卒業、本大学院修士課程ヴィルトゥオーゾコース修了

大学で外国人の先生に師事させていただいたことで、海外で学ぶことの大切さを知りました。また、長いプログラムの試験や演奏会の機会が多くあり、舞台に立つ経験とレパートリーを増やせたことが、今の演奏活動の大きな力となっています。その他にも、舞台マナーやメンタルトレーニングの授業など、実技以外に重要なこともたくさん学べました。ここでの出会いと経験、時間がかけがえのないものになりますように。

Profile

武蔵野音楽大学大学院ヴィルトゥオーゾコース修了後、渡独。カールスルーエ音楽大学にて国家演奏家資格取得。フランクフルト音楽・舞台芸術大学院在籍中に「Piano Trio Hannari」を結成し、ソロ・トリオ共にコンクール受賞歴多数。現在フランクフルト音楽・舞台芸術大学常勤講師。





音楽が好きな気持ちを忘れず、希望を持ち、時を大切に突き進む

セントラル愛知交響楽団首席ティンパニ・打楽器奏者 片山 陽平

本大学 音楽学部 器楽学科 ティンパニ専攻卒業

今、受験に向けての準備で頭が一杯かと思います。モチベーションやコンディションを保つ事、苦勞されているかと思っています。その努力、決して無駄ではありません。一生の財産です。皆様音楽を始めた切っ掛けは音楽が好きという気持ちからスタートしたかと思っています。その気持ちを忘れず、行き詰まった時は様々な景色に身を寄せてみて下さい。きっとそれが音楽に良いエッセンスを与えてくれるでしょう。自分の色を大切に探究心を。

Profile

アフィニス夏の音楽祭、小澤征爾音楽塾、ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニーオーケストラ、International percussion music radio festivalなどに出演をする他、日本各地のプロオーケストラに首席客演または客演をしている。セントラル愛知交響楽団首席ティンパニ・打楽器奏者。豊田市ジュニアオーケストラ、椋山フィルハーモニーオーケストラ 等講師。

音楽の追求とは、自分と向き合うことです

新日本フィルハーモニー交響楽団首席オーボエ奏者 神農 広樹

本大学 音楽学部 演奏学科 器楽コース オーボエ専攻卒業

音楽に向き合うということ、それは自分の弱さを見つめることであり、この世界の広さを知ることであります。弱い自分と戦い続けるためには、幅広い選択肢を示してくれる先達、同じように音楽の高みを目指す仲間、そして自分には考えもつかないようなアイデアを持った友人たちがが必要です。武蔵野音大にはあなたが探しに行きさえすれば、そのすべてがあります。音楽の奥深い世界を探索し、大きく成長するチャンスを掴んで下さい。

Profile

武蔵野音楽大学卒業、トロツシゲン音楽大学院修了。第91回日本音楽コンクールオーボエ部門第2位。兵庫芸術文化センター管弦楽団オーボエ奏者を経て新日本フィルハーモニー交響楽団首席オーボエ奏者。



素晴らしい環境で学び、自分の可能性を広げていく喜び

日本フィルハーモニー交響楽団コントラバス奏者 山口 雅之

本大学 音楽学部 演奏学科 器楽コース コントラバス専攻卒業

大学での授業やさまざまなイベントを通して、素晴らしい先生方や友人たちとの出会いがありました。武蔵野で培った音楽性や人間性は今の自分の基盤となっています。大学での4年間は他では出来ない経験ができる、一生の中でも特別な時期だと思います。音楽に限らずたくさんのものを見たり、聴いたり、味わったりして、自分の可能性を広げていってほしいです。

Profile

武蔵野音楽大学卒業、同大学別科修了。第21回長江杯国際音楽コンクール弦楽器部門大学の部第2位(1位なし)入賞。第20回 演奏家コンクール弦楽器部門 大学生の部入選。2019年より日本フィルハーモニー交響楽団コントラバス奏者。コントラバスを亀子政孝、高山智仁両氏に師事。

学生時代の時間は貴重です

色々な経験が音楽を豊かにしてくれます

劇団四季俳優 清水 智紗子

本大学 音楽学部 ヴィルトゥオーゾ学科卒業、本大学院修士課程修了

学生時代は複数の言語の歌曲に触れる為、自分がどの言語を勉強したいかを考える機会を得ました。オペラ選抜クラスではお芝居の基礎を学び、役について考える楽しさ、演じながら歌う事の楽しさを経験しました。レッスン、試験での先生方のご指導の他、図書館を活用し、声楽を様々な方面から思う存分追求出来る期間でした。何事も経験です。どんな事からも学びを見つけ、極めたい事を諦めずに挑戦してってください。

Profile

2013、2018年度武蔵野音楽大学福井面秋記念奨学生。第14回日本演奏家コンクール第1位。第23回日本クラシック音楽コンクール最高位。第10回横浜国際音楽コンクール最高位。第71回全日本学生音楽コンクール東京大会入賞。2018年劇団四季研究所入所。出演作品「ゴースト&レディ」、「エビータ」、「オペラ座の怪人」、「バケモノの子」蓮の母役。



桐蔭学園小学校主幹教諭

玉川大学非常勤講師／2024年度 國學院大学兼任講師

本大学卒業、2004年本大学院修士課程修了 ピアノ

岩井 智宏

大学時代を振り返ってみると、武蔵野では音楽を通して「人間力」というものを学ばせて頂いたことを卒業して実感しています。専門の楽器を諦めずに研鑽していくなかで、温かい先輩・後輩・友人達との音楽談義、素晴らしい先生方との出会い、熱くなれる学園行事、これらの一つ一つが人間力へとつながり、現在の仕事に大きく影響しています。

今、私は小学校音楽教師の傍ら、大学講師、本の執筆、全国各地での講演、ピアノ演奏も続けています。様々なことに取り組もうと思える心情は、まさに武蔵野での学びが根底をつくってくれました。専門的な音楽を学べ、社会を生き抜くための人間力を磨いてくれる武蔵野でのキャンパスライフを是非味わってほしいです。

公益財団法人 サントリー芸術財団

サントリーホール 企画制作部

曾武川 和之

2013年 本大学卒業 打楽器

コンサートホールの現場で、世界中から集まる音楽家やたくさんのお客様と接し、日々音楽の輝きと魅力を感じています。しかし音大にはその輝きの陰の艱難辛苦があふれるほどあります。「上手ければそのうちプロになれると思ってた」「自分の方が上手いはずなのに」「自分以外みんな上手」…様々な想いをし、時に夢破れることもあると思います。私もそうでした。そしてもし後悔しても、その責任は自分で取るしかありません。しかし音大には何度でも学び、成長するためのたくさんの環境と機会が用意されています。困ったときや辛いときには飲み物を片手に話ができる仲間や先生がきっといるはずですよ。皆さんと音楽との魅力的な未来が見つかることを願っています。



全日本空輸株式会社 (ANA)

在学中は、専攻のピアノや教職課程に加えて、英語やその他の語学の勉強にも力を入れていました。また、レッスンや実技試験を通して、努力し続ける姿勢や礼儀に合う振る舞いも身についたと感じています。

現在は客室乗務員として、周りのクルーと個性や価値観を認め合い、助け合いながら、楽しくあたたかいフライトづくりに努めています。そして何より保安要員として、お客様に安心し安全を感じていただけるフライトを心がけ、とても仕事にやりがいを感じています。国内線、国際線乗務で訪れる各地では、様々な文化に触れることができ、価値観や見聞が広がることもこの仕事の醍醐味だと思います。

航空自衛隊 航空中央音楽隊

内田 爽太

2022年 本大学卒業 ファゴット

私は演奏家として日本各地・海外で活動することを夢見て武蔵野音大に入学しました。大学の多種多彩なホールで学び、都内の著名なコンサートホールで演奏をした経験は夢への近道となりました。学校内で演奏する機会も多く、専攻楽器の先生はもちろん、他楽器の先生からも音楽芸術の研鑽を積むことができました。就職後は日本全国のホールや日本武道館などで演奏しています。海外で演奏する仕事もあり、海外で働かれていた先生から大学時代に学んだことを身をもって経験できたことは大学時代と今を結び思い出となっています。江古田キャンパスの充実した練習環境で、時にはライバルとなり高みを目指す仲間と共に切磋琢磨した先に、夢を実現できると体感しました。



株式会社オリエンタルランド

2018年 本大学卒業 音楽環境運営 (現アートマネジメント)

現在は、テーマパーク内のショーを作るためのリハーサル計画などを行い、日々のショーをオペレーションするステージマネージャーというお仕事をしています。

在学中は、自分で考えた照明の中で演奏を行ったり、音楽スタジオで録音した音源を編集したり、コンサートや美術展示の企画などをしたりと、マネジメントを学びながら実践的な経験もたくさん積ませていただきました。現職の仕事の中でも、当時の経験が生きる場面を非常に多く感じられます。

アートマネジメントコースは、芸術を届けるまでの過程を、知識と経験の2つの側面から学べる場だと思います。また、エンターテインメントを支える側の知識だけでなく、音大生として出演者としての思いや準備も経験できることは大きな魅力です。

ぜひ武蔵野音楽大学で実りあるキャンパスライフを送ってください。



金山 堇

2018年 本大学卒業 ピアノ



安西 慎也

夢に向かって羽ばたく新卒業生



島村楽器株式会社

武蔵野音楽大学で学んだ音楽の楽しさを 多くの人に届けたい

大学で過ごした4年間は、憧れの先生方や同期、先輩後輩からたくさんの刺激をいただいた日々でした。主科だけではなく、ピアノや指揮、室内楽等から音楽の楽しさはもちろん、知識や理解の幅をより深く広げることができました。また、アンサンブルを通して音楽を作り上げていく中で、苦難の先にある楽しさを何度も経験できたことは、かけがえのない時間となりました。このような楽しさをこの先も多くの人に伝えていくために日々努力してまいります。

深澤 美穂

2025年卒 サクソフォーン（山村国際高等学校出身）



新国立劇場オペラ研修所

人との繋がりに感謝して世界を目指す

私はこの4年間で、コンサート形式の試験や、数々の本番を経て、レパートリーを深めることができました。また、音楽の世界で活躍するたくさんの先輩方からオペラ歌手を目指すきっかけをいただきました。先生方の厚いサポートを賜り、このような進路を開けたことに心から感謝しております。また専攻、学年問わず音楽や人生について語られる仲間と出会えたことも、進路を決断する上でとても大切なものでした。大学でのご縁と経験を活かし、世界に羽ばたくオペラ歌手になれるよう精進してまいります。

上田 駆

2025年卒 声楽（新潟県立新潟中央高等学校音楽科出身）



ANAエアポートサービス株式会社

大好きな楽器に打ち込めた4年間

武蔵野音楽大学で過ごした4年間は私にとってかけがえのないものになりました。専攻のフルートだけでなく幅広く音楽を学ぶことができ、演奏旅行や定期演奏会などを通して、さまざまな場所で演奏する機会にも恵まれたことは、自身の成長に大きく繋がったと思います。先生方もとても親切で親身になって下さる方ばかりでした。私は4月からは音楽から離れた生活になりますが、4年間を通して学んだことを忘れずに、新たな場所で自分らしく頑張っていきたいと思います。

鈴木 夏菜

2025年卒 フルート（聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校出身）



東京都教員採用試験合格

一念通天

音楽の教師になりたいという夢を叶えるために進学を決めた武蔵野音楽大学では、さまざまな先生方や同期との出会いがありました。大学で得た学びは教育に特化したものから音楽の専門的な知識まで幅広く、将来のキャリアへと直結するものばかりで、教職の先生方の手厚いご指導による教員採用試験対策等には何度も助けられました。叶えたい夢、目標がある方々には武蔵野音楽大学が将来への最短経路になります。

三浦 創陽

2025年卒 トランペット（足立学園高等学校出身）



公益財団法人東京都歴史文化財団

音楽の力、繋ぐ文化 創造とマネジメントで広がる未来

武蔵野音楽大学での学びを通じて、音楽の奥深さと文化芸術の価値を改めて実感しました。演奏技術の研鑽はもちろんのこと、アートマネジメントや学芸員課程での授業から、音楽と社会をつなぐ新たな視点を得ることができました。これからは、文化芸術を支える立場として、芸術の可能性を広げていきたいと思っています。学び舎で得た知識や経験を胸に、音楽をはじめとする文化芸術の未来を創造し、多くの人々にその魅力を届けていきます。

西村 唯菜

2025年卒 アートマネジメント（横須賀学院高等学校出身）



航空自衛隊 幹部候補生

輝かしい未来のために、 今しかできないことを

武蔵野音楽大学での4年間は、学びの連続でした。もともと中学校教員を志しておりましたが、幅広い分野の授業や、素晴らしい先生方の指導を受けていく中で、自分の音楽性を発揮することを望むようになりました。その形のひとつとして、航空自衛隊 幹部候補生を志望いたしました。まだまだ未熟ではありますが、大学での経験が今の私を支えてくれています。音楽大学で学んだことを十二分に発揮できるよう、全力で努力を続けてまいります。

稲垣 翔太

2025年卒 トランペット（埼玉県立伊奈学園総合高等学校出身）



福井直秋記念奨学金

本学独自の奨学金制度を大幅に拡充。

「福井直秋記念奨学金」とは、学業、人物ともに優れ、向学心あふれる学生に与えられる、**返還義務の無い**奨学金制度です。
新制度では、学修サポート体制をなお一層充実させるため、「年間授業料全額＋施設費全額相当」「年間授業料 1／4 相当」の給付区分を新設、さらに、新入生、在学生ともに奨学金給付者数を大幅に増員しています。

■ 入学時（音楽学部1年次）対象

種類	対象区分	対象学年	給付額	給付者数
特別給費奨学金 （特待生）	音楽学部	新入学生（1年次）	年間授業料全額相当 （内1名は施設費全額相当も給付）	3名
			年間授業料半額相当	2名
			年間授業料 1／4 相当	3名
給費奨学金	同上	同上	入学金相当	30名程度
				計40名程度

■ 入学後対象

種類	対象区分	対象学年	給付額（年額）	給付者数
特別給費奨学金 （特待生）	音楽学部	2～4年次	年間授業料全額相当 （内3名は施設費全額相当も給付）	5名
			年間授業料半額相当	3名
			年間授業料 1／4 相当	9名
給費奨学金	音楽学部	2～4年次	15万円	30名程度
	大学院修士課程	1～2年次	20万円	16名程度
特別成果給費奨学金	音楽的・学術的または社会的な活動において特に顕著な成果をあげた学生	全学年	30万円	若干名
緊急給費奨学金	家計の急変により、学業継続が困難になった学生	全学年	最高20万円	数名
				計70名程度

コンコルディア奨学金

この奨学金は、本学学部卒業予定者・卒業生、および大学院修了予定者・修了生を対象に、特に優れた成果を挙げた者、ならびに今後の成長が大いに期待できる者を表彰、奨励するものです。
主な給付対象は、著名なコンクールの受賞歴、学会等での顕著な研究業績、諸外国の優れた特色ある教育機関への留学、優秀な楽団や教育研究機関への正規の採用などです。在学中の勉学状況、成果、教員からの推薦状、本人からの実績報告書などの書類を総合的に勘案して選考されます。



コンコルディア奨学金受給記念コンサート
土屋優子ソプラノ・リサイタル

日本学生支援機構奨学金

「日本学生支援機構奨学金」とは、経済的事情により修学が困難な学生に貸与または給付される、国の奨学金制度です。この奨学金の目的は、将来社会に貢献する人材育成であり、無利子で貸与される「第一種奨学金」と、有利子で貸与される「第二種奨学金」、および「給付奨学金」があります。なお、「第一種奨学金」「第二種奨学金」を受けた奨学生は、社会人になってから返還する義務があります。

カウンセリング制度・オフィスアワー

本学では専任教員及び専門資格を持つ心理カウンセラーが学生の相談に応じています。内容は学修、健康、就職など、広範多岐にわたっています。
また、授業科目の内容や勉強方法などの質問や相談について、専門科目、外国語科目、教養科目を担当する専任教員が個々に対応するオフィスアワーもあり、学生は必要に応じて随時利用することができます。

経済的負担を軽減するためのさまざまな特典



■ 外国人客員教授の
レッスンは無料
多くの客員教授（外国人）が着任し、長期間あるいは短期間のレッスン、講座などを行います。これらの受講料はすべて無料です。



■ 演奏会、公開講座の
入場料は無料、また、
出演・参加費用も無料
学内外の音楽家や学生による演奏会、公開講座などを活発に実施しており、在学生の入場は無料です。また、これらの催しへの学生の出演・参加も無料です。



■ 就職・進学希望者のためのセミナーや講座の
受講料は無料
就職や進学のためのセミナーや講座等は無料で受講することができます（少額の資料代がかかる場合があります）。



■ 演奏旅行への
参加費は無料
国内外でオーケストラ、ウィンドアンサンブルなどの演奏旅行を実施しますが、学生の出演、参加費用は全額大学が負担します（ただし海外演奏旅行のみ、一部参加者負担）。

■ オーディション等による選抜者の授業料減額

本学では室内楽、伴奏法、指揮等、多くの科目の授業を開講し、オーディション等により履修者を選抜していますが、これらの受講料はすべて無料です。

■ 休学・留年の場合の学費軽減

半年以上休学する場合は、授業料と施設費を減額します。また、履修単位がわずかに不足し、留年、卒業保留となった場合は、不足単位数に応じて授業料を減額します。

■ 授業料等減免（高等教育の修学支援新制度）

2020年4月から国の「高等教育の修学支援新制度」が始まり、本学はこの制度の対象校となりました。日本学生支援機構「給付奨学金」に申請し、採用された学生は入学金および授業料の減免対象となります。

■ 学生保険料は大学が負担

本学では全学生が「学生教育研究災害傷害保険（通学中等傷害危険担保特約含む）」に加入しますが、加入費用は、大学が負担します。

■ 災害の場合の授業料減額

地震や風水害などの自然災害により自宅に甚大（半壊以上）な被害を受け、公的機関の証明書が提出された場合は、その年度の授業料を一部減額します。

■ 兄弟姉妹が2名以上在籍する場合の入学金相当額免除

同一年度に2名以上の兄弟姉妹が本学園の大学院、大学、附属高等学校、幼稚園に在籍する場合は、その新入生の入学金相当額を免除します。また、兄弟姉妹が同時に入学された場合は、原則として、そのうち1名の入学金相当額を免除します。

■ 外国人留学生授業料減免

本学では、学業に精勤している私費外国人留学生に対して年額10万円を支援する制度を設けています。
なお、優秀な学生に与えられる「福井直秋記念奨学金」（71ページ参照）を重複して受給できます。

総合型選抜〔第1回・第2回・第3回・第4回〕

- ### 学校推薦型選抜（指定校）

- ### 一般選抜 [A 日程・B 日程]

- 外国人留学生入学者選抜 [A 日程・B 日程]

- ※試験科目、出願資格等詳細は本学ウェブサイトおよび入学者選抜要項をご確認ください。

2026年度

学科・コース		学費			後援会費	納入金合計
		入学金	授業料	施設費		
演奏学科	器楽・声楽コース	150,000円	1,390,000円	670,000円	10,000円	2,220,000円
	ヴィルトゥオーゾコース	150,000円	1,490,000円	670,000円	10,000円	2,320,000円
音楽総合学科		150,000円	1,360,000円	670,000円	10,000円	2,190,000円

○印＝受験科目

入学者選抜 試験科目（外国人留学生入学者選抜を除く）

※2「外国語」のうち「英語」については本学独自に実施する試験を受験するか、大学入学共通テスト（リーディングとリスニング）の成績を利用するかのいずれかを選択できます。また、大学入学共通テストを利用する場合、英語の他にドイツ語、フランス語での受験も可能です。

演奏学科

[illegible]

音楽総合学科

コース名および 履修システム		総合型選抜							
		書類 審査	面接	課題 小論文	口頭 試問	作品 提出	プレゼン テーション	論文 提出	実技
オープンメジャーシステム		○	○	○	○	－	－	－	－
フィックス メジャー システム	作曲コース	○	○	－	－	○	○	－	－
	音楽学コース	○	○	○	○	－	－	○	－
	音楽教育コース	○	○	○	○	－	－	－	○
	アートマネジメントコース	○	○	○	○	－	－	－	－

コース名および 履修システム		学校推薦型選抜（指定校）										
		普通高校						音楽高校				
		楽典※1	面接	課題 小論文	口頭 試問	作曲 専攻課題	実技	面接	課題 小論文	口頭 試問	作曲 専攻課題	実技
オープンメジャーシステム		○	○	○	○	－	－	○	○	○	－	－
フィックス メジャー システム	作曲コース	○	○	－	○	○	○	○	－	○	○	－
	音楽学コース	○	○	○	○	－	－	○	○	○	－	－
	音楽教育コース	○	○	○	○	－	○	○	○	○	－	○
	アートマネジメントコース	○	○	○	○	－	－	○	○	○	－	－

コース名および 履修システム		一般選抜							
		楽典※1	外国語※2	面接	課題 小論文	口頭 試問	作曲 専攻課題	実技	副科 ピアノ
オープンメジャーシステム		○	○	○	○	○	－	○	－
フィックス メジャー システム	作曲コース	○	○	○	－	○	○	○	－
	音楽学コース	○	○	○	○	○	－	○	－
	音楽教育コース	○	○	○	○	○	－	○	○
	アートマネジメントコース	○	○	○	○	○	－	○	－

入学者選抜スケジュール [音楽学部 第1年次]

～武蔵野音楽大学へつづく入学者選抜～

その他の入学者選抜（学部3年次編入・転入、大学院等）については本学ウェブサイトおよび入学者選抜要項をご確認ください。

入学者選抜についてのお問い合わせ 入学者選抜事務室 TEL.03-3992-1119

各入学者選抜要項の郵送をご希望の方は、本学ウェブサイト内の「資料請求フォーム」からお申し込みいただくか、広報室（TEL.03-3992-1125）へお電話にてご請求ください。

	8月	9月	10月	11月	12月	2026 年 1月	2月	3月
〔第1回・第2回・第3回・第4回〕 総合型選抜	● 計4回実施。 ・全ての学科およびコースに出願可能。	出願期間第1回 [ウェブ出願] 9月1日(月)～9月8日(月) [書類郵送] 9月1日(月)～9月10日(水) 試験期間 9月27日(土)、9月28日(日) 合否発表日 11月4日(火)	出願期間第2回 [ウェブ出願] 10月1日(水)～10月8日(水) [書類郵送] 10月1日(水)～10月10日(金) 試験期間 10月25日(土)、10月26日(日) 合否発表日 11月4日(火)	出願期間第3回 [ウェブ出願] 11月12日(水)～11月19日(水) [書類郵送] 11月12日(水)～11月21日(金) 試験期間 12月13日(土)、12月14日(日) 合否発表日 12月19日(金)		出願期間第4回 [ウェブ出願] 3月3日(火)～3月10日(火) [書類郵送] 3月3日(火)～3月12日(木) 試験期間 3月17日(火)、3月18日(水) 合否発表 3月19日(木)		
学校推薦型選抜（指定校）	● 学校長からの推薦で受験可能。 ・指定校制としています。 ・全ての学科およびコースに出願可能。 ● 楽典実力認定試験の利用も可能。＊ ＊受験講習会で実施する楽典実力認定試験に合格した場合は、学校推薦型選抜の試験科目「楽典」が免除されます。			出願期間 [ウェブ出願] 11月1日(土)～11月6日(木) [書類郵送] 11月1日(土)～11月8日(土) 試験期間 11月22日(土)、11月23日(日・祝) 合否発表日 12月1日(月)				
〔A日程・B日程〕 一般選抜	● 楽典実力認定試験の利用も可能。＊¹ ● 大学入学共通テストの利用も可能。＊² ＊¹ 受験講習会で実施する楽典実力認定試験に合格した場合は、一般選抜の試験科目「楽典」が免除されます。 ＊² 「外国語」のうち「英語」については本学独自に実施する試験を受験するか、大学入学共通テスト（リーディングとリスニング）の成績を利用するかのいずれかを選択できます。また、大学入学共通テストを利用する場合、英語の他にドイツ語、フランス語での受験も可能です。					出願期間A日程 [ウェブ出願] 1月21日(水)～1月28日(水) [書類郵送] 1月21日(水)～1月30日(金) 試験期間合否発表日 2月18日(水)～2月21日(土) 2月26日(木)	出願期間B日程 [ウェブ出願] 2月10日(火)～2月17日(火) [書類郵送] 2月10日(火)～2月19日(木) 試験期間合否発表日 3月5日(木)～3月7日(土) 3月12日(木)	
〔A日程・B日程〕 外国人留学生 入学者選抜	試験科目、出願資格等詳細は本学ウェブサイトおよび入学者選抜要項をご確認ください。	出願期間A日程 [ウェブ出願] 9月10日(水)～ [書類郵送] 9月10日(水)～ 試験期間 10月25日(土)、10月26日(日)	9月17日(水) 9月19日(金) 合否発表日 11月4日(火)	出願期間B日程 [ウェブ出願] 10月16日(木)～10月23日(木) [書類郵送] 10月16日(木)～10月25日(土) 試験期間 12月6日(土)、12月7日(日)	12月11日(木)			
大学受験講習会・ 入学者選抜直前対策	夏期、秋期、冬期の受験講習会では、最終日に楽典実力認定試験を実施します。合格した場合は、入学者選抜の試験科目「楽典」が免除されます。詳細は受験講習会要項ご確認ください。	日程夏期 〔Ⅰ期〕 8月7日(木)～8月9日(土) 〔Ⅱ期〕 8月22日(金)～8月24日(日)	日程秋期 9月14日(日)、 9月15日(月・祝)		日程冬期 12月24日(水)～ 12月26日(金)	日程入学者選抜直前対策 1月25日(日)	日程春期 3月27日(金)～ 3月29日(日)	

2025年度 講習会・イベント情報

オープンキャンパス

音楽大学ってどんなところ？見て、聞いて、体験してみよう！

5/18(日)

6/15(日)

7/13(日)
大学院進学説明会
同日開催

8/3(日)

9/7(日)

10/19(日)

2026
3/22(日)

会 場

江古田キャンパス

参 加 費

無料(要事前申込)

実施内容

大学紹介、体験レッスン、キャンパスツアー、学生によるコンサート、体験授業、進学相談 など

※実施内容は各回で異なります。詳細は
本学ウェブサイトでご確認ください。

大学受験講習会

夏 期

I 期:8月7日(木)～8月9日(土)
II 期:8月22日(金)～8月24日(日)

秋 期

9月14日(日)・9月15日(月・祝)

冬 期

12月24日(水)～12月26日(金)

春 期

2026年3月27日(金)～3月29日(日)

会場

江古田キャンパス

開講科目

・実技レッスン ・楽典
・課題小論文

※詳細は本学ウェブサイトまたは講習会要項でご確認ください。
(夏期講習会要項:6月 発行/秋期講習会要項:8月 発行/
冬期講習会要項:10月 発行/春期講習会要項:2月 発行)

楽典実力認定試験

夏期、秋期、冬期の受験講習会では、最終日に楽典実力認定試験を実施します。
合格した場合は、入学者選抜の試験科目「楽典」が免除されます。詳細は講習会要項でご確認ください。

入学者選抜直前対策

期 日:2026年1月25日(日)

対 象:高校3年生/受験生/保護者

会 場:江古田キャンパス

参加費:無料(要事前申込)

実施内容

・入学者選抜説明
・模擬実技試験
・「楽典」試験対策講座

・「課題小論文」・「口頭試問対策」講座
・模擬面接
・個別相談

※詳細は本学ウェブサイトでご確認ください。

■ 各イベントに関するお問い合わせ

入学センター TEL.03-3992-2500

参加のお申し込みは、本学ウェブサイト内の専用申し込みフォームをご利用ください。

むさおん

検索

武蔵野音楽学園公式 SNS

本学公式 SNS では演奏会やイベント情報などを発信しています。



LINE公式アカウント



YouTube



X



Facebook



Instagram

学校説明会 & 体験レッスン

全国各地で本学の学校説明会 & 体験レッスンを開催します！

対 象:小中高生、受験生、指導者、教員、保護者

内 容:大学紹介(ガイダンス形式)、体験レッスン、本学教員によるミニコンサート、
進学相談

参加費:無料

※実施内容は開催地によって異なります。
※学校説明会 & 体験レッスンの開催会場
およびレッスン実施専攻等の詳細は、
本学ウェブサイトでご確認ください。

北海道地方

北海道旭川市
5/25(日)
旭川市民文化会館 小ホール

北海道札幌市
6/22(日)
ガイダンス:六花亭札幌本店きたこぶしホール
レッスン:ヤマハミュージック札幌店 札幌センター

宮城県仙台市
5/11(日)
カワイ仙台

福島県福島市
6/22(日)
ふくしん夢の音楽堂
(福島市音楽堂)小ホール

関東地方

栃木県宇都宮市
6/29(日)
宇都宮共和大学
宇都宮シティキャンパス

神奈川県横浜市
7/20(日)
旭区民文化センター
(サンハート)音楽ホール

中部地方

新潟県新潟市
5/25(日)
ヤマハミュージック新潟店
ミュージックアベニュー新潟

静岡県浜松市
6/1(日)
ヤマハミュージック浜松店
ミュージックアベニュー浜松

長野県長野市
6/8(日)
長野市芸術館 リサیتالホール

愛知県名古屋市
7/20(日)
名古屋音楽学校

中国地方

山口県山口市
6/8(日)
KDDI 維新ホール メインホール

香川県観音寺市
7/6(日)
ハイスタッフホール 小ホール

九州地方・沖縄地方

福岡県福岡市
6/1(日)
アクロス福岡 イベントホール

鹿児島県鹿児島市
6/29(日)
LAGBAG MUSIC TOGO
(東郷音楽学院)



ステップアップ・プログラム

ピアノ・声楽・管楽器・打楽器・弦楽器

2026年
10/5(日)・11/30(日)・2/15(日)

会 場:江古田キャンパス

参加費:有料(要事前申込)

実施内容:60分間の個人レッスン、個別相談(希望者のみ)

※参加費および実施内容の詳細は本学ウェブサイトでご確認ください。

江古田キャンパスアクセス

西武池袋線【江古田駅】北口から徒歩4分
西武有楽町線【新桜台駅】4番出口から徒歩4分
東京メトロ有楽町線/副都心線【小竹向原駅】2番出口から徒歩9分
〒176-8521 東京都練馬区羽沢1丁目13-1 TEL.03-3992-1121(代表)

武蔵野音楽大学ウェブサイト

<https://www.musashino-music.ac.jp/>

